PRIMEQUEST シリーズ

Video Redirection の起動手順と動作確認情報

2023年12月14日更新

目次

1.	はじめに
1.1	Video Redirection を使用するための Java について
1.2	OpenJDK ベースの Java で Video Redirection 機能を使用する方法
2.	OpenJDK ベース Java のインストール方法
2.1	OpenJDK ベースの Java モジュールのダウンロード7
2.2	クライアント端末へのインストール方法9
2.2.1	OpenJDK について11
2.2.2	IcedTea-Web について19
2.2.3	クライアント端末が Windows 10 (64 bit)/Windows 11 の場合
2.2.4	クライアント端末が Windows 10 (32 bit) の場合
2.3	Oracle Java と OpenJDK ベースの Java の切替方法について
2.4	OpenJDK ベースの 64bit と 32bit Java の切替方法について
3.	Video Redirection (Java)の起動方法について53
3.1	PRIMEQUEST1000 シリーズでの Video Redirection (Java) の起動方法53
3.2	PRIMEQUEST2000 シリーズでの Video Redirection(Java)の起動方法58
3.2.1	本体ファームウェア版数 BA18112,BB18111,BC18111 以前の場合の起動方法58
3.2.2	本体ファームウェア版数 BA19022,BB19022,BC19022 以降の場合の起動方法61
3.3 の記動	PRIMEQUEST3000 シリーズ Enterprise Model での Video Redirection (Java)
3.3.1	本体ファームウェア版数 PA18112 以前の場合の起動方法
3.3.2	本体ファームウェア版数 PA19024, PB19032 以降の場合の起動方法

3.4 起動方	PRIMEQUEST3000 シリーズ Business Model での Video Redirection (Java) 法	の .74
3.4.1	iRMC ファームウェア版数 1.70Q 以前の場合の起動方法	.74
3.4.2	iRMC ファームウェア版数 1.75Q, 2.40Q 以降の場合の起動方法	. 78
3.5	jnlp ファイルと Java の関連付け	. 82
4.	Video Redirection の動作検証について	. 88
4.1	Video Redirection 動作確認組み合わせについて	. 88
4.2	Open JDK ベースの Java を使用した Video Redirection の動作検証結果	. 90
4.3	Oracle Java を使用した Video Redirection の動作検証結果	105
5.	Video Redirection の注意事項	109
6.	トラブルシューティング	111
【付録	1]	121
【付録	2]	122
【付録	3]	126
【付録	4]	129
【付録	5]	145
【付録	6]	149
【付録	7]	152
【付録	8]	157
【付録	9]	158
【付録	10]	159
【付録	11]	160
【付録	12]	161
【付録	13]	162

1. はじめに

本書は、PRIMEQUEST 1000 シリーズ、PRIMEQUEST 2000 シリーズ、PRIMEQUEST 3000 シリー ズにおいて、Video Redirection 機能を使用するために必要なクライアント端末(操作端末)の設定およ び使用方法について説明しています。

また、Java を使用した Video Redirection および Video Redirection(HTML5)の動作検証結果と、<u>トラブ</u> ルシューティングを示しています。

商標一覧

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標 または商標です。
- Oracle、 Java および OpenJDK は、Oracle Corporation と米国内外の関連企業の商標です。
- Zulu は Azul Systems Inc.の登録商標です。
- その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

製品一覧

PRIMEQUEST 1000 シリーズ(以下、PQ1000 と記載する場合があります)のモデルは以下の通りです。 PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L/1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2

PRIMEQUEST 2000 シリーズ(以下、PQ2000 と記載する場合があります)のモデルは以下の通りです。

PRIMEQUEST 2400S Lite / 2400S / 2400E / 2400L / 2800E / 2800L / 2800B / 2400S2 Lite / 2400S2 / 2400E2 / 2400L2 / 2800E2 / 2800L2 / 2800B2 / 2400S3 Lite / 2400S3 / 2400E3 / 2400L3 / 2800E3 / 2800E3 / 2800L3 / 2800B3 /

PRIMEQUEST 3000 シリーズ Enterprise Model (以下、PQ3000 または PQ3000 E と記載する場合 があります)のモデルは以下の通りです。

PRIMEQUEST 3400S Lite / 3400S / 3400E / 3400L / 3800E / 3800L / 3400S2 Lite / 3400S2 / 3400E2 / 3400L2 / 3800L2 / 3800L2

PRIMEQUEST 3000 シリーズ Business Model (以下、PQ3000 または PQ3000 B と記載する場合が あります)のモデルは以下の通りです。

PRIMEQUEST 3800B / 3800B2

補足

- 以下のモデルについては日本国内では販売していないグローバルモデルとなりますので、日本国内では、設定対象外項目となります。
 PRIMEQUEST 2000 シリーズ 2800B / 2800B2 / 2800B3
 PRIMEQUEST 3000 シリーズ 3800B / 3800B2

1.1 Video Redirection を使用するための Java について

Video Redirection を使用するためにクライアント端末(操作端末)にインストールして使用する Java は無償の OpenJDK の使用を推奨します。

オラクル社から提供されていた無償の Oracle Java の公式アップデートは 2019 年 1 月で終了となりました。(2019 年 1 月 15 日リリースが最終版)

今後も引き続きオラクル社から提供される Oracle Java (Java8)を使用してのセキュリティアップデート、 バグ修正等を希望する場合は有償契約が必要となります。そのため、今後は Video Redirection (Java) を使用する場合、有償契約が必要な Oracle Java ではなく、無償で使用出来る OpenJDK ベースの Java をサポートします。

Video Redirection を起動する際、クライアント端末に必要な Open JDK ベースの Java モジュールの入 手方法/インストール方法について記載している章を以下に示します。

Java 入手方法	インストール方法	クライアント端末例	各 OS での設定方法
<u>2.1 章</u> 参照	<u>2.2 章</u> 参照	Windows 10 (32 bit)	<u>2.2.6 章</u> 参照
		Windows 10 (64 bit)/	<u>2.2.4 章</u> 参照
		Windows 11	

[ご注意]

- Oracle Java について

オラクル社から提供されていた無償の Oracle Java8 をそのまま使用すると、Java の脆弱性等が 発見された際の修正アップデートは、有償契約していない場合提供されなくなり、脆弱性を悪用し た攻撃によるウイルス感染などの危険性が高くなります。

また、オラクル社と有償契約して Oracle Java8 を継続して使用される場合、Video Redirection の 動作検証は 2019 年 1 月 15 日リリースの最終版までとなりますので、2019 年 1 月 15 日リリース 後に更新された Java8 を使用しての Video Redirection の動作についてはサポート対象外になりま すのでご了承ください。

Microsoft Windows 8.1 について
 Windows 8.1 のサポートは、2023 年 1 月 10 日に終了しました。これに伴い、Windows 8.1 を
 使用した Video Redirection の動作についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。

Oracle Java のサポート状況を以下に示します。

PRIMEQUEST	ſ	サポート Oracle Java 状況
本体側		
	本体ファームウェア版数	
1000 シリーズ	全版数	Oracle Java8 update201 までサポート。以降の更新
		版数は非サポート。
2000 シリーズ	BA18112,BB18111,BC1	Oracle Java8 update201 までサポート。以降の更新
	8111 以前まで	版数は非サポート。
	BA19022,BB19022,BC1	Oracle Java8 は非サポート。
	9022 以降	
3000 シリーズ	PA18112 以前まで	Oracle Java8 update201 までサポート。以降の更新
Enterprise		版数は非サポート。
Model	PA19024,PB19032 以降	Oracle Java8 は非サポート。
3000 シリーズ	1.70Q(※)以前まで	Oracle Java8 update201 までサポート。以降の更新
Business		版数は非サポート。
Model	1.75Q,2.40Q (※) 以	Oracle Java8 は非サポート。
	降	

・本体ファームウェア版数は以下の Web-UI 画面から確認できます。

- PRIMEQUEST 3000 シリーズ Business Model 以外のシリーズ

MMB Web-UI: System>Firmware Information 画面

- PRIMEQUEST 3000 シリーズ Business Model

iRMC Web-UI : System>Running iRMC Firmware

・表中の BA、BB、BC について

それぞれ BA(2400S Lite, 2400S, 2400E, 2800E, 2400L, 2800L, 2800B), BB(2400S2 Lite, 2400S2, 2400E2, 2800E2, 2400L2, 2800B2), BC(2400S3 Lite, 2400S3, 2400E3, 2800E3, 2400L3, 2800L3, 2800B3)に対応した本体ファームウェア版数を示します。

・表中の PA、PB について

それぞれ PA(3400S Lite, 3400S, 3400E, 3800E, 3400L, 3800L), PB(3400S2 Lite, 3400S2, 3400E2, 3800E2, 3400L2, 3800L2) に対応した本体ファームウェア版数を示します。

・動作検証の結果は、4章を参照してください。

※ PQ3000 Business Model の場合、iRMC ファームウェアを表します。

- 1.xxQ: 3800B 用の iRMC ファームウェア版数を示します。

- 2.xxQ: 3800B2 用の iRMC ファームウェア版数を示します。

1.2 OpenJDK ベースの Java で Video Redirection 機能を使用する方法

PRIMEQUEST 1000, 2000, 3000 各シリーズで Video Redirection を起動する方法について記載してい る章を以下に示します。

PRIMEQUEST 本体俱	IJ	Video Redirection の起動方法
	本体ファームウェア版数	
1000 シリーズ	全版数	<u>3.1章</u> 参照
		(※1)
2000 シリーズ	BA18112,BB18111,BC18111以	<u>3.2.1章</u> 参照
	前まで	(※1)(※2)
	BA19022,BB19022,BC19022 以	<u>3.2.2章</u> 参照
	降	(※3)
3000 シリーズ	PA18112 以前まで	<u>3.3.1章</u> 参照
Enterprise Model	PA19024 ,PB19032 以降	<u>3.3.2 章</u> 参照
		(※3)
3000 シリーズ	1.70Q(※)以前まで	<u>3.4.1章</u> 参照
Business Model	1.75Q,2.40Q 以降(※)	<u>3.4.2章</u> 参照

・本体ファームウェア版数は以下の Web-UI 画面から確認できます。

- PRIMEQUEST 3000 シリーズ Business Model 以外のシリーズ

MMB Web-UI: System>Firmware Information 画面

- PRIMEQUEST 3000 シリーズ Business Model

iRMC Web-UI : System>Running iRMC Firmware

・動作検証の結果は、4章を参照してください。

注意事項

※1. 付録5に該当している場合は"3. 発生を未然に防止する方法"を確認してください。

※2. 付録6に該当している場合は"3. 発生を未然に防止する方法"を確認してください。

※3. 付録7に該当している場合は"2. 発生を未然に防止する方法"を確認してください。

2. OpenJDK ベース Java のインストール方法

Windows OS 上での OpenJDK ベースの Java (OpenJDK)と IcedTea-Web のインストール方法につい て記載します。

[ご注意]

PRIMEQUEST シリーズでは Video Redirection (Java Viewer) を起動する際の OpenJDK ベースの推 奨 Java については、Zulu から AdoptOpenJDK に変更となりました。また、AdportOpenJDK は Adoptium OpenJDK に変わりました。このため、今後の Video Redirection (Java Viewer)の動作検証 は AdoptOpenJDK および Adoptium OpenJDK を使用して実施しますので、Zulu をご利用の場合は、 AdoptOpenJDK または、Adoptium OpenJDK への変更をお願いします。

2.1 OpenJDK ベースの Java モジュールのダウンロード

以下のサイトからダウンロードが可能です。

Package	Download Site
Adoptium OpenJDK	https://adoptium.net/
	・Windows 10(64 bit), Windows 11 の場合、64bit 用 MSI モジュールを使
	用してインストールしてください。
	(ダウンロードとインストール方法については、 <u>2.2 章</u> の例を参考にしてく
	ださい。本体ファームウェアの版数によっては、クライアント端末が 64bit
	用 Windows であっても 32bit 用 MSI モジュールを使用する必要がある場
	合があります ので <u>2.2 章の 4 項</u> の注意事項を必ず確認してください。)
IcedTea-Web	http://icedtea.wildebeest.org/download/icedtea-web-binaries/
	・Windows 10(64 bit), Windows 11 の場合、MSI モジュールを使用して ください。
	(ダウンロードとインストール方法については、 <u>2.2 章</u> の例を参考にしてく ださい。)

(OpenJDK ベースの推奨 Java は Zulu から AdoptOpenJDK に変更となりましたので Zulu 用モジ ュールのダウンロードサイトの記載は削除しました。) 免責事項

- ・上記ダウンロードサイトを利用される際は、その中に掲載されている利用条件につきましても同意いただく必要がありますのでご承知ください。
- ・富士通側で動作確認までは実施し、本ドキュメントの中で記載済です。ただし、お客様の環境で OpenJDK ベースの Java モジュールをご使用の際は、お客様責任にてご使用ください。
- ・上記ダウンロードサイト上のコンテンツや URL は、予告なしに変更または中止されることがありま す。あらかじめご了承願います。
- ・理由の如何に関わらず、情報の変更及び上記ウェブサイトの運用の中断または中止によって生じるい かなる損害についても責任を負うものではありません。

2.2 クライアント端末へのインストール方法

OpenJDK と IcedTea-Web をクライアント端末ヘインストールする方法について記載します。

[注意事項]

1. クライアント端末へのインストール可否について

ご利用のクライアント端末によってはインストールの際、セキュリティ設定などによって、インスト ールの可否を求める問合せが出る場合やインストールがブロックされてしまう場合などがございま す。そのため、予めクライアント端末でインストールが問題なく実施出来るようにセキュリティ設定 などを確認してください。

2. クライアント端末で Zulu を利用していた場合について

Video Redirection (Java Viewer)を起動するのに、Zulu は今後使用しませんので他の用途でも必要ない場合については、クライアント端末からアンインストールしてください。

- システムタイプが 64bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、コントロールパネルの『プログラムと機能』からアンインストールしてください。
- システムタイプが 32bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、C:¥Program Files¥Zulu のフォルダを削除してください。(Zulu を以前ご利用時に、手動でインストールを 実施したフォルダとなります)。

また、同様にシステム環境変数 Path の設定の記載も不要になりますので、他の用途でも必要ない場合については記載を削除してください。

 インストールする OpenJDK と IcedTea-Web の版数について 実際にインストール版数については Video Redirection 動作検証確認済みの OpenJDK と IcedTea-Web になりますので、<u>4 章</u>にて記載している検証済のうち、最新版数のモジュールとなりますので予 めご確認ください。

4. Video Redirection 起動用ツールを使用するクライアント端末の OpenJDK について

以下に示す本体ファームウェアをご利用している装置では、Video Redirection 機能を使用するため には、専用の起動用ツール (Video Redirection 起動用ツール)を使用します。その際にクライアン ト端末側 (システムタイプが 64bit,32bit ともに) にインストールする OpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。

Video Redirection 起動用ツールを起動する際、誤って OpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを使用 した場合、64bit 版の Jar フォルダが作成されることによって Virtual Media が起動できなくなりま す。Video Redirection 起動用ツールを起動すると Video Redirection 起動用ツールと同じディレク トリに Jar のフォルダ (Jar/<Video Redirection 起動用ツールで入力した Host IP address>/lib/javaclientconfwrapper.dll が含まれています)が作成されますので、この Jar のフォル ダを削除して、OpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを削除してください。再度、AdoptOpenJDK 32bit 版用 MSI モジュールを使用して Video Redirection 起動用ツールを起動してください。

PRIMEQUEST 本体側

	本体ファームウェア版数	クライアント端末側(システムタイプが 32bit,
		64bit 版) で Video Redirection の起動に必要な
		Java
2000 シリーズ	BA18112, BB18111,	OpenJDK の 32bit 版用 MSI モジュール
	BC18111 以前まで	(Video Redirection の起動については、 <u>3.2.1 章</u>
		の本体ファームウェア版数 BA18112, BB18111,
		BC18111 以前の場合の起動方法を参照)
3000 シリーズ	PA18112 以前まで	OpenJDK の 32bit 版用 MSI モジュール
Enterprise Model		(Video Redirection の起動については、 <u>3.3.1 章</u>
		の本体ファームウェア版数 PA18112 以前の場合
		の起動方法を参照)
3000 シリーズ	1.70Q(※)以前まで	OpenJDK の 32bit 版用 MSI モジュール
Business Model		(Video Redirection の起動については、 <u>3.4.1 章</u>
		の iRMC ファームウェア版数 1.70Q 以前の場合
		の起動方法を参照のこと。

上記に該当する本体ファームウェア版数の装置で Video Redirection を起動する際、クライアント 端末にインストールが必要な Java は OpenJDK (32bit 版)のみですが、IcedTea-Web がインスト ールされていても動作に問題はありません。

2.2.1 OpenJDK について

OpenJDK の Download Site にアクセスして、Archive ページから各クライアント端末のシステムタイ プ(32bit 版または 64bit 版)に対応した MSI モジュールをダウンロードし、インストールするまでの 例を示します。

OpenJDK では使用する MSI モジュールの Version は **OpenJDK 8** でかつ、JVM は HotSpot を使用し ます。それ以外は使用しません。

JDK 8 update302 以降は、AdoptOpenJDK から Adoptium OpenJDK に変わりました。 それに伴い、OpenJDK のインストール先ディレクトリ名が変更になりました。 ディレクトリ名 変更前:C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.292.10-hotspot (※JDK 8 update 292 の例) 変更後:C:¥Program Files¥Eclipse Adoptium¥jdk-8.0.302.8-hotspot (※JDK 8 update 302 の例)

以降では、Adoptium OpenJDK 8.0.322.06(jdk8u322-b06)の例となります。

(以前の AdoptOpenJDK をインストール済の場合は、コントロールパネルの『プログラムと機能』から 古い AdoptOpenJDK をアンインストールしてください。)

[手順]

- 1. ダウンロードサイトに行きます
- 2. Release Archive を選択する

🔺 ADOPTIUM Home Marketplace Documentation FAQ Projects - Further Information -

y o

Prebuilt OpenJDK Binaries for Free!

Java™ is the world's leading programming language and platform. The Adoptium Working Group promotes and supports high-quality, TCK certified runtimes and associated technology for use across the Java ecosystem. Eclipse Temurin is the name of the OpenJDK distribution from Adoptium.

Download Temurin™ for Windows x64





Change Language 🔻

- 3. Version 8 を選択します。
- 4. クライアント端末のシステムタイプ(32bit 版または 64bit 版)に対応した MSI モジュールを選択し てダウンロードします。
 - システムタイプが 64bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、Windows x64 の JDK(*1)をクリックしてダウンロードします。

(OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u362b09.msi がダウンロードされます)

- システムタイプが 32bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、Windows x86 の JDK(*2)をクリックしてダウンロードします。

(OpenJDK8U-jdk_x86-32_windows_hotspot_8u362b09.msi がダウンロードされます)



上記は AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.362.09(jdk8u362-b09)の表示例

5. ダウンロードした MSI モジュール(インストーラ)を使用してインストールを開始します。 AdoptOpenJDK8 update 292 以前の場合

(以降、64bit 版クライアント用のインストーラの例となります。)

セットアップウィザードで「次へ」をクリックします。

₿ AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x6 □ ×		
	AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x64) セットアップ ウィザードへよう こそ	
	このセットアップウィザードでは、AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x64) をコンピューターにインストールしま す。 続行する(こは、[次へ] をクリックしてくださ(い。 セットアップ ウィ ザードを終了する(こは、[キャンセル] をクリックしてくださ(い。	
	戻る(8) 次へ(N) キャンセル	

- 使用許諾契約書を確認して「使用許諾契約書に同意します」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。

 			
下のツリーのアイコンをクリックして、機能をインストールする方法を変更してください。			
Add to PATH Associate .jar	AdoptOpenJDK Development Kit with Hotspot		
X ▼ Set JAVA_HOME variable JavaSoft (Orade) registr	この機能にはハード ドライブ領域が 184MB 必要です。5 つのうち 2 つのサ ブ機能が選択されています。これらの サブ機能には、ハード ドライブ領域が 3KB 必要です。		
关系的 C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥ 参照(R)			
リセット(S) ディスク使用量(U) 〕	戻る(B) 次へ(N) キャンセル		

「インストール」をクリックします。

₿ AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x6 □ ×
AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x64) のインストー
インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。 インストール設定を確認また は変更するには [戻る] をクリックしてください。 ウィザードを終了するには [キャンセル] をクリック してください。
戻る(B) 「愛インストール(I)」 キャンセル

- 「完了」をクリックします。

₿ AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x6 – □ ×		
AdoptOpenJDK JDK with Hotspot 8.0.212.04 (x64) セットアップ ウィザードが完 了しました セットアップウィザードを終了するには、[完了] ボタンをクリックし ます。		
戻る(B) 完了(F) キャンセル		

Eclipse Temurin JDK 8 update362 以降の場合

(以降、64bit 版クライアント用のインストーラの例となります。)

・ セットアップウィザードで「次へ」をクリックします。

🔂 Eclipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x64) セットアップ — □ ×		
	Eclipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x64) セットアップ ウィザードへよう こそ	
	このセットアップ ウィザードでは、Edipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x64) をコンピューターにインストールしま す。 続行するには、 [次へ] をクリックしてください。 セットアップ ウィ ザードを終了するには、 [キャンセル] をクリックしてください。	
ADOPTIUM		
	戻る(B) 次へ(N) キャンセル	

「次へ」をクリックします。

Eclipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x6	54) セットアップ — 🗆 🗙
カスタム セットアップ 機能をインストールする方法を選択してください。	
下のツリーのアイコンをクリックして、機能をインストール	する方法を変更してください。
Add to PATH Associate .jar Set JAVA_HOME variable	Eclipse Temurin Development Kit with Hotspot
JavaSoft (Orade) registr	この機能にはハードドライブ領域が 190MB 必要です。4 つのうち 2 つのサ ブ機能が選択されています。これらの サブ機能には、ハードドライブ領域が 3KB 必要です。
場所: C:¥Program Files¥Eclipse Adoptium¥jdk-8.0.362.9-hotspot	¥ 参照(R)
リセット(S) ディスク使用量(U) 原	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

 「インストール」をクリックします。
🔁 Eclipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x64) セットアップ ────────────────────────────────────
Eclipse Temurin JDK with Hotspot 8u362-b09 (x64) のインストー
インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。インストール設定を確認また は変更するには [戻る] をクリックしてください。ウィザードを終了するには [キャンセル] をクリック してください。
戻る(8) 「くろくろう」 キャンセル

- 「完了」をクリックします。



2.2.2 IcedTea-Web について

IcedTea-Web の Download Site にアクセスして、Archive ページから各クライアント端末のシステムタ イプ (32bit 版または 64bit 版) に対応した MSI モジュールまたは、ZIP モジュールをダウンロードし、 インストールするまでの例を示します。

- 64bit版 OS の Windows: MSI モジュールをダウンロードします。

(Index of /download/icedtea-web-binaries/1.8/windows/itw-installer.msi)

- 32bit 版 OS の Windows: ZIP モジュールをダウンロードします。

(Index of /download/icedtea-web-binaries/1.7.2/windows/icedtea-web-1.7.2.win.bin.zip)

* 32bit 版 OS は 1.8 版ではなく 1.7.2 版の ZIP モジュールを選択する点にご注意ください。

Index of /download/icedtea-web-binaries

	<u>Name</u>	Last modified	<u>Size</u> [Description
٩	Parent Directory		-	
	<u>1.7.1/</u>	2017-12-18 12:24	-	
	1.7.2/	2019-03-11 21:45	-	
	<u>1.7/</u>	2017-07-20 14:34	-	
	<u>1.8/</u>	2019-03-13 10:34	-	

Apache/2.4.25 (Debian) Server at icedtea.wildebeest.org Port 80

[手順]

- 1. ダウンロードサイトに行きます
- 2. クライアント端末のシステムタイプ(64bit 版または 32bit 版) に対応したモジュールを選択してダ ウンロードします。
 - システムタイプが 64bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、MSI モジュールを選 択しダウンロードします。

(itw-installer.msi)

以下の 1.8 版の Windows 用 MSI モジュールをダウンロードします。

Index of /download/icedtea-web-binaries/1.8/windows

Name	Last modified	<u>Size</u>	Description
Parent Directory icedtea-web-1.8.win.bin.zip icedtea-web-1.8.win.bin.zip.sig itw-installer.msi itw-installer.msi.sig	2019-03-13 10:33 2019-03-13 10:33 2019-03-13 10:33 2019-03-13 10:33	- 8.3M 310 8.5M 310	

Apache/2.4.25 (Debian) Server at icedtea.wildebeest.org Port 80

- システムタイプが 32bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、ZIP モジュールを選択します。

(icedtea-web-1.7.2.win.bin.zip)

以下の 1.7.2 版の Windows 用 ZIP モジュールをダウンロードします。(1.8 版の Windows 用 ZIP モジュールは使用できません)

Ι	ndex of /down	load/ic	ed	tea-web-binaries/1.7.2/windows
	Name	Last modified	<u>Size</u>	Description
4	Parent Directory		-	
	icedtea-web-1.7.2.win.bin.zip	2019-03-11 21:44	5.6M	
2	<u>icedtea-web-1.7.2.win.bin.zip.si</u> g	2019-03-11 21:44	310	
2	<u>itw-installer.msi</u>	2019-03-11 21:44	5.6M	
2	<u>itw-installer.msi.si</u> g	2019-03-11 21:44	310	

Apache/2.4.25 (Debian) Server at icedtea.wildebeest.org Port 80

3. ダウンロードした MSI モジュール (インストーラ) または ZIP モジュールを使用してインストール を開始します。

システムタイプが 64bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、4.を参照してください。 システムタイプが 32bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、以下の章で記載してい ますので参照してください。

- Windows10(32bit)の場合 <u>2.2.6 章</u> 参照

4. システムタイプが 64bit 版オペレーティングシステムの Windows の場合は、MSI モジュール(イン ストーラ)を使用してインストールを開始します。

(以降、1.8版の64bit版クライアント用のインストーラ itw-installer.msi の例となります。)

セットアップウィザードで「次へ」をクリックします。



使用許諾契約書を確認して「使用許諾契約書に同意します」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。

#	IcedTea-Web 1.8 Setup	- 🗆 X
End-User Lio Please read t	ense Agreement the following license agreement carefully	
	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991	^
Copyright (C) 51 Franklin Everyone is p of this license) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. I Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA permitted to copy and distribute verbatim copies e document, but changing it is not allowed.	
	Preamble	
The licenses freedom to sh	for most software are designed to take away your nare and change it. By contrast, the GNU General Public	~
✓ I accept the	e terms in the License Agreement	
	Print Back Next	Cancel

・ 「次へ」をクリックします。

闄	IcedTea-Web 1.8 Setup – 🗆 🗙
	Destination Folder Click Next to install to the default folder or click Change to choose another.
	Install IcedTea-Web 1.8 to:
	C:¥Program Files¥IcedTeaWeb¥WebStart¥ Change
	Back Next Cancel

「インストール」をクリックします。

闄	IcedTea-Web 1.8 Setup – 🗆 🗙
Re	dy to install IcedTea-Web 1.8
	ck Install to begin the installation. Click Back to review or change any of your stallation settings. Click Cancel to exit the wizard.
	Back Install Cancel

「完了」をクリックします。

谩 Io	cedTea-Web 1.8 Setup – 🗆 🗙
	Click the Finish button to exit the Setup Wizard
	Back Finish Cancel

2.2.3 クライアント端末が Windows 10 (64 bit)/Windows 11 の場合

- 手順 1. OpenJDK ベースの Java をインストール 前章を参考にインストール (OpenJDK と IcedTea-Web) を実施してください。
- 手順2.環境変数の path 設定

Oracle Java と **OpenJDK** ベースの **Java** を混在させている場合、**OpenJDK** ベースの **Java** を 優先設定とするため、以下の手順を実施してください。**OpenJDK** ベースの **Java** のみをインス トールしている場合は、手順 2 は不要です。

環境変数 path を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。
 システムの詳細設定をクリックします。

<u>-</u> 97274			-	
🗧	・ル パネル » システムとセキュリティ »	 システム ~ ご 	コントロール パネルの検索	<i>م</i>
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	な情報の表示		•
🌍 デバイス マネージャー	Windows のエディション			
💔 リモートの設定	Windows 10 Pro			10
 システムの保護 システムの詳細設定 	© 2018 Microsoft Corp rights reserved.	oration. All	indows	s 10
	システム			
	プロセッサ:	Intel(R) Xeon(R) CPU E7-8867 v3 @	2.50GHz 2.50 GHz (2プ	ロセッサ)
	実装メモリ (RAM):	4.00 GB		
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、×64	ベース プロセッサ	
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチン	入力は利用できません	
	コンピューター名、ドメインおよび	ワークグループの設定		
	コンピューター名:		●設定0)変更
	フル コンピューター名:			
	コンピューターの説明:			
	ワークグループ:			
	Windows ライセンス認証―			
	Windows をライセンス認	証するために、インターネットに接続してください	。マイクロソフト ソフトウェア 条項を読む	ライセンス
関連項目 セキュリティとメンテナンス	プロダクト ID:		ເ ∳Windows Ø∋ົ	イセンス認証

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	\times
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。 パフォーマンス	
視覚効果、プロセッサのスケシュール、メモリ使用、および仮想メモリ 設定(S)	
- ユーザー ブロファイル サインインに関連したデスクトップ設定	
設定(E)	
「起動と回復」	
システム起動、システム障害、およびデパッグ情報 設定(T)	
環境変数(N) ⇒]
OK キャンセル 適用(A)

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の Path 表示箇所をクリック後に、編集をクリック します。

C:¥Users¥root¥OneDrive C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
新現(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)	
値	•
1	1
Windows_NT	
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr	
.COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC	
AMD64	
AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel	
AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6	
	C+USers¥root¥AppData¥Local¥Temp C¥USers¥root¥AppData¥Local¥Temp 值 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr

Oracle Java と OpenJDK ベースの Java を混在させている場合、OpenJDK ベースの Java を 優先設定とするため、追加した変数をクリックした後、上へをクリックし、C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath より上に移動します。

『環境変数名の編集ダイアログ』変更後にOKをクリックします。

環境変数名の編集	×
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin	新規(N)
C:¥Program Files¥lcedTeaWeb¥WebStart¥bin	
%SystemRoot%¥system32	編集(E)
%SystemRoot%	
%SystemRoot%¥System32¥Wbem	参照(B)
%SYSTEMROOT%¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥	
C:¥Program Files (x86)¥Java¥jdk1.8.0_121¥bin	削除(D)
C:¥ProgramData¥Oracle¥Java¥javapath	
	上へ(U)
	下へ(0)
	テキストの編集(T)
]
	ha salali
OK	キャンセル

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

oot のユーサー環境変数(<u>U</u>)		
変数	值	
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
フテ / 理培亦批(C)	All 20(11)… (第五(月)… 1310-(石)	
ステム環境変数(<u>S</u>)	(四)/31(円)····	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数	*************************************	^
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 OS	值 Windows_NT	^
ステム環境変数(<u>S)</u> 変数 OS Path	值 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C;¥Pr	^
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 OS Path PATHEXT	值 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;,EXE;,BAT;.CMD;,VBS;,VBE;JS;,JSE;,WSF;,WSH;.MSC	^
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 OS <mark>Path</mark> PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE	值 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64	^
ステム環境変数(<u>5</u>) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER	الله المحاولي ال محاولي المحاولي المح واحد المحاولي محاولي المحاولي المحاولي المحاولي المحاولي المحاولي المحاولي المحاح	^
ステム環境変数(S) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	值 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6	^
ステム環境変数(S) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_IEVEL PROCESSOR_REVISION	值 Windows_NT CCVProgram Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C¥Pr .COM;EXE;BAT;.CMD;.VBS;.VBE;JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6 2d06	^ ~
ステム環境変数(S) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL PROCESSOR_REVISION	值 Windows_NT CCM7;EXE;BAT;CADp;OpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C¥Pr .COM;EXE;BAT;CADp;VBS;VBE;JS;JSE;WSF;WSH;MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6 2d06	~

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のよう に表示されていることを確認してください。

GII コマンド プロンプト	_	×
Microsoft Windows [Version 10.0.15063] (c) 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^
C:¥Users¥root>java -version openjdk version ~1.8.0_212~ OpenJDK Runtime Environment (AdoptOpenJDK)(build 1.8.0_212-b04) OpenJDK 64-Bit Server VM (AdoptOpenJDK)(build 25.212-b04, mixed mode)		
C:¥Users¥root> C:¥Users¥root>_		
		\sim

手順 3. 環境変数 JAVA_HOME の設定

環境変数 JAVA_HOME を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。 システムの詳細設定をクリックします。

👱 ୬ステム					-		×
← → י זאעב א 🗹 -	ルパネル > システムとセキュリティ >	システム	√ Ū	コントロール パネ	ネルの検索		Q
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的な	な情報の表示					?
🌻 デバイス マネージャー	Windows のエディション						
🗣 リモートの設定	Windows 10 Pro						
 システムの保護 システムの詳細設定 	© 2018 Microsoft Corpo rights reserved.	oration. All	Wi	ndo	SW	s 1	0
	システム プロセッサ: 実装メモリ (RAM): システムの種類: ペンとタッチ: コンピューター名、ドメインおよび コンピューター名: フル コンピューター名: コンピューターの説明: ワークグルーブ:	Intel(R) Xeon(R) CPU E7 4.00 GB 64 ビット オペレーティング シ このディスブレイでは、ペンジ ワークグループの設定	「-8867 v3 @ 2 バテム、x64 ^ 入力とタッチス	2.50GHz 2.50 マース プロセッサ 力は利用できる	o GHz (2) ・ ません 設定	プロセッサ の変更)
関連項目 セキュリティとメンテナンス	Windows ライセンス認証 Windows をライセンス認証 プロダクト ID:	証するために、インターネットに接着	してください。	マイクロソフト 条項を読む ��Wir	ト ソフトウェ ndows の:	ア ライセ: ライセンス	 27ス 認証

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。 - パフォーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定(S)	
- ユーザー プロファイル サインインに関連したデスクトップ設定 設定(E)	
システム起動、システム障害、およびテバック情報 設定(T)	
環境変数(N)	
OK キャンセル 適用(A	()

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の新規をクリックします。

(既にシステム環境変数に JAVA_HOME が存在する場合は、JAVA_HOME を選択して編集を クリックします。)

	16.	
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>	0
		<i>.</i>
ステム環境変数(<u>S</u>)		
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数		
ステム環境変数(S) 変数 NIIMBER OF PROCESSORS	值	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS	值 1 Windows NT	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	値 1 Windows_NT C:¥Program File:¥AdoptOpenJDK¥idk-8.0.212.04-hotspot¥bin:C:¥Pr	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	值 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;,EXE;,BAT;.CMD;,VBS;,VBE;JS;JSE;.WSF;,WSF;,WSF;,WSC	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM; EXE; .BAT; .CMD; .VBS; .VBF; JS; JSE; .WSF; .WSF; .WSF; .MSC AMD64	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM; EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR LEVEL	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6	
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64 Intel64 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6	

新規をクリックした場合、『新しいシステム変数』ダイアログがでます。 JAVA_HOME を選択して編集をクリックした場合、『システム変数の編集』ダイアログがでま す。

以下を設定し、OK をクリックします。

AdoptOpenJDK の場合

変数値:『C:\Program Files\AdoptOpenJDK\jdk-8.0.212.04-hotspot』

(変数値はインストールした AdoptOpenJDK の版数により変わります)

Eclipse Adoptium JDK の場合

変数值:『C:\Program Files \Eclipse Adoptium\jdk-8.0.322.6-hotspot』

(変数値はインストールした EclipseAdoptiumJDK の版数により変わります)

システム変数の編集			×
変数名(N):	JAVA_HOME		
変数值(V):	C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot		
ディレクトリの参照(D).	. ファイルの参照(F)	OK ++772	الا

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

值	
C:¥Users¥root¥OneDrive	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)	1
	,
	,
ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	,
值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC	
値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC AMD64	
	1월 C:¥Users¥root¥OneDrive C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;C:¥tools¥j C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp

新しくコマンドプロンプトを開き、set JAVA_HOME と入力し、エンターを押します。以下の ように表示されていることを確認してください。



システムを再起動します。

2.2.4 クライアント端末が Windows 10 (32 bit) の場合

- 手順 1. OpenJDK ベースの Java をインストール 前章を参考にインストール (OpenJDK) を実施してください。
- 手順 2. IcedTea-Web をインストール ダウンロードした IcedTea-Web モジュール (ZIP ファイル)を解凍します。 以降、icedtea-web-1.7.1.win.bin.zip を例に記載します。

以下はデスクトップ上で icedtea-web-1.7.1.win.bin.zip を解凍した例です。



初めてクライアント端末に IcedTea-Web をインストールする場合、C:¥Program Files 配下に IcedTeaWeb 用フォルダを作成し、その中に今回追加用のフォルダ (WebStart) を作成します。 既に上記フォルダが存在する場合は、必要ありません。

📙 🕗 📃 🖛 WebStart			-	×
ファイル ホーム 共有 表示				~ 🕐
🗧 🔶 👻 🛉 📙 > PC > ローカルディスク (C:) > Program Files > IcedTea-Web > WebStart		~ Ō	WebStartの検索	Ą
^ 名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
ConeDrive	このフォルダーは空です。			
PC				
ダウンロード				
📃 デスクトップ				
۴+2×ント				
📰 ピクチャ				
📓 ビデオ				
♪ ミュージック				
■ ローカル ディスク (C.)				
ポットワーク				
 ▲ ホームグループ 				
▼ 0 個の項目				

ZIP ファイルの解凍後に生成されたモジュールを作成したフォルダ(WebStart)に全てコピー します。

新しい版数のIcedTea-Webモジュール(ZIPファイル)をご利用時は、上記フォルダ(WebStart) 配下を全て削除し、新しいZIPファイルの解凍後に生成されたモジュールを全てコピーします。

📙 💆 🔜 🖛 WebStart				- 0	×
ファイル ホーム 共有 表示					~ 🕐
🔶 🚽 🔹 🛉 📙 > PC > ローカルディスク (C:) > Program Files	> IcedTea-Web > WebStart		ע פֿbStar	tの検索	Q
^ 4	6前 ^ ^	更新日時	種類	サイズ	
	bin	2019/01/28 16:30	ファイル フォルダー		
ConeDrive	icedtea-web-docs	2019/01/28 16:30	ファイル フォルダー		
	share	2019/01/28 16:30	ファイル フォルダー		
PC [win-deps-runtime	2019/01/28 16:30	ファイル フォルダー		
◆ ダウンロード	netx.src.zip	2017/12/18 12:15	ZIP ファイル	1,022 KB	
ニ デスクトップ	🗿 plugin.src.zip	2017/12/18 12:15	ZIP ファイル	85 KB	
ドキュメント					
■ ピクチャ					
📕 र्टन्त्र					
♪ ミュージック					
ニ ローカル ディスク (C:)					
💣 ネットワーク					
•�� ホームグループ					
6個の項目 6個の項目を選択					

手順3.環境変数の path 設定

Oracle Java と **OpenJDK** ベースの **Java** を混在させている場合、**OpenJDK** ベースの **Java** を 優先設定とするため、以下の手順を実施してください。**OpenJDK** ベースの **Java** のみをインス トールしている場合は、手順 3 は不要です。

環境変数 path を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。 システムの詳細設定をクリックします。



『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。	
- ハンオーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定(S)	
_ ユーザー プロファイル	
サインインに関連したデスクトップ設定	
設定(E)	
起動と回復	
システム起動、システム障害、およびデバッグ情報	
設定(T)	
環境変数(N)	
OK キャンセル 適用(/	4)

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の Path 表示箇所をクリック後に、編集をクリック します。

	值
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
	新規(N) 編集(E) 削除(D)
ステム環境変数(S)	
ステム環境変数(S) 変数	值
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER OF PROCESSORS	值 1
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS	值 1 Windows_NT
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	值 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;:EXE;:BAT;.CMD;:VBS;.VBE;JS;JSE;:WSF;:WSF);:WSH;:MSC
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;:EXE;BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;:EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 x86 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;:EXE;:BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	值 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6

Oracle Java と OpenJDK ベースの Java を混在させている場合、OpenJDK ベースの Java を 優先設定とするため、追加した変数をクリックした後、上へをクリックし、C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath より上に移動します。

『環境変数名の編集ダイアログ』変更後に OK をクリックします。

環境変数名の編集	×
	_
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin	新規(N)
C:¥Program Files¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath	
%SystemRoot%¥system32	編集(E)
%SystemRoot%	
%SystemRoot%¥System32¥Wbem	参照(B)
%SYSTEMROOT%¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥	
	削除(D)
	上へ(U)
	下へ(0)
	テキストの編集(T)
ОК	キャンセル

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

変数	値	
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
	新規(N) 編集(E) 削除(D)
	the second se	
	ansat da ante da	
マステム環境変数(S)	anadraha ana ana ana ana ana ana ana ana ana	
ステム環境変数(S) 変数	<u>م</u>	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS	值 1	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS	值 1 Windows_NT	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	値 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	值 1 Windows_NT <u>Ci¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;Ci¥Pr.,</u> .COM;:EXE;BAT;.CMD;.VBS;.VBE;JS;JSE;.WSF;.WSF;.MSC	•
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE	值 1 Windows_NT CCMP; EXE; BAT; CMD; VBS; VBE; JS; JSE; WSF; WSH; MSC x86	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER	الله المحاولية المحاولية محاولية المحاولية محاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولي محاولية المحاولية ا محاولية المحاولية المحا محاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولية المحاولي المحاولية المحاولية المحا محاولية	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	Image:	
ステム環境変数(S) 変数 NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER PROCESSOR_LEVEL	值 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;:EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 Family 6 Model 45 Stepping 6, GenuineIntel 6 新聞(M) 有重集(M) 有重集(M) 有重集(M) 有重集(M)	

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のよう に表示されていることを確認してください。



手順 4. 環境変数 JAVA_HOME の設定

環境変数 JAVA_HOME を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。

システムの詳細設定をクリックします。

🖳 システム				- 0	×
← → י ↑ 🖳 אעב אין שאעב ל	ルパネル > すべてのコントロールパ	ネル項目 > システム	✓ ບັ □2	トロール パネルの検索	Q
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	な情報の表示			?
💔 デバイス マネージャー	Windows のエディション				
😌 リモートの設定	Windows 10 Pro				
🌍 システムの保護	© 2017 Microsoft Corp	poration. All rights reserved.	Wir	าดดพรไ	1()
🌍 システムの詳細設定				1010110	
	システム				
	プロセッサ:	Genuine Intel(R) CPU @ 2.60GHz 2.60 GHz			
	実装メモリ (RAM):	4.00 GB (3.00 GB 使用可能)			
	システムの種類:	32 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ			
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません			
	コンピューター名、ドメインおよび	バワークグループの設定			
	コンピューター名:			●設定の変更	
	フル コンピューター名:				
	コンピューターの説明:				
	ワークグループ:				
	Windows ライセンス認証 —				
	Windows をライセンス認	証するために、インターネットに接続してください。 マイクロソフト ソフト	ウェアライセンス条項	を読む	
関連項目	プロダクト ID:			�₩indows のライセン	ス認証
セキュリティとメンテナンス					

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	\times
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。 「パフォーマンス	
視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ 設定(S)	
ユーザー ブロファイル サインインに関連したデスクトップ設定	
システム起動、システム障害、およびデバッグ情報 設定(T)	
環境変数(N)	
OK キャンセル 適用(A)

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の新規をクリックします。

(既にシステム環境変数に JAVA_HOME が存在する場合は、JAVA_HOME を選択して編集を クリックします。)

冬秋	值	
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
	新規(N) 編集(E) 削除(D)
ステム環境変数(S)		
ステム環境変数(S) 変数	值	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec	值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE	值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT <u>C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr</u> .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR IDENTIFIER	值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT <u>C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr</u> .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 family 6 Model 45 Stepping 6. GenuineIntel	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR_ARCHITECTURE PROCESSOR_IDENTIFIER	值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC x86 x86 Family 6 Model 45 Stepping 6. GenuineIntel	

新規をクリックした場合、『新しいシステム変数』ダイアログがでます。 JAVA_HOME を選択して編集をクリックした場合、『システム変数の編集』ダイアログがでま す。

以下を設定し、OK をクリックします。

変数名:『JAVA_HOME』、

AdoptOpenJDK の場合

変数値:『C:\Program Files\AdoptOpenJDK\jdk-8.0.212.04-hotspot』

(変数値はインストールした AdoptOpenJDK の版数により変わります)

Eclipse Adoptium JDK の場合

変数値:『C:\Program Files \Eclipse Adoptium\jdk-8.0.322.6-hotspot』

(変数値はインストールした EclipseAdoptiumJDK の版数により変わります)

システム変数の編集			×
変数名(N):	JAVA_HOME		
変数値(V):	C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot		
ディレクトリの参照(D)	. ファイルの参照(F)	OK キャンセノ	·

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
тмр	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
	芸兵相(N)) (温佳(F)) 前前(☆(D))	,
ステム環境変数(S) 変数	(信	,
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec	dirotu(1) معتقد دار المعتقد دار المعتقد دار	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec IAVA HOME	الله المحمد	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec JAVA_HOME NUMBER OF PROCESSORS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows NT	,
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot 1 Windows_NT C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Pr .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT PROCESSOR ARCHITECTURE	Implify Implify	
新しくコマンドプロンプトを開き、set JAVA_HOME と入力し、エンターを押します。以下のように表示されていることを確認してください。



システムを再起動します。

2.3 Oracle Java と OpenJDK ベースの Java の切替方法について

クライアント端末での Oracle Java と OpenJDK ベースの Java の切り替え方法を記載します。 例として、Windows 8.1(64 bit) で OpenJDK ベースの Java 設定を Oracle Java 設定に切り替える方法 を示します。

[Java の切り替え前]

OS: Windows8.1(64bit)

Java: OpenJDK ベースの 64bit 版と、Oracle Java の 32bit 版をインストール済で OpenJDK ベースの Java が有効な状態

- AdoptOpenJDK (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u212b04.msi)
- Oracle Java (jre-8u201-windows-i586.exe)

現在の Java の版数を確認します。

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のように表示さ れていることを確認してください。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	-	×
Microsoft Windows [Version 6.3.9600] (c) 2013 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^
u:#Users/java -version openjdk version "1.8.0_212" OpenJDK Runtime Environment (AdoptOpenJDK)(build 1.8.0_212-b04) OpenJDK 64-Bit Server VM (AdoptOpenJDK)(build 25.212-b04, mixed mode)	
C:¥Users> C:¥Users>		
		\sim

上記は AdoptOpenJDK (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u212b04.msi) を使用している例です。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。
システムの詳細設定をクリックします。

12		システム			×
	-ル パネル → システムとセキュリティ	▶ システム	~ C	コントロール パネル	,p
🛯 элть × +					
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	」な情報の表示			?
👰 デバイス マネージャー	Windows のエディミュン				
リモートの設定	Windows 8 1 Entern	ico			
システムの保護	© 2013 Microsoft Co	rporation. All rights reserved.	Wind	$\alpha_{\lambda} c^{*} R$	
💡 システムの詳細設定	e coro i nel conte co			00050	
	システム				
	プロセッサ:	Intel(R) Core(TM) i5-6300U CPU @ 2.40GHz	2.40 GHz		
	実装メモリ (RAM):	8.00 GB (7.89 GB 使用可能)			
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッ	у U		
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できま	ほせん		
	コンピューター名、ドメインおよび	バワークグループの設定			
	コンピューター名:			😚 設定の変更	
	フル コンピューター名:				
	コンピューターの説明:				
関連項目	ドメイン:				
Windows Undate	Windows ライセンス認証 —				- 1
windows opdate	Windows はライセンス認	証されています。 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を	読む		~

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	\times
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。 パフォーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定(S)	
ユーザー ブロファイル サインインに関連したデスクトップ設定 設定(E)	
起動と回復	
システム起動、システム障害、およびデバッグ情報	
設定(T)	
環境変数(N)]
OK キャンセル 適用(A)	

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の Path 表示箇所をクリック後に、編集をクリックします。 『システム変数の編集』ダイアログの変数値の設定を全指定してコピーし、テキストファイルに貼り付 けします。

	システム変数の編集
変数名(N): 変数値(V):	Path d;C:¥ProgramData¥Oracle¥Java¥javapath
	OK キャンセル

[変更前の例]

🧱 - メモ帳	-		×	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)				
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Program Files¥IcedTeaWeb¥WebSt ¥bin;C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath;C:¥Program Files (x86)¥VMwar vSphere CLI¥PerI¥site¥bin;C:¥Program Files (x86)¥VMware¥VMware vSphere CLI¥PerI¥bin;C:¥Pro (x86)¥Intel¥iCLS Client¥;C:¥Program Files (x86)¥Vnte¥iCLS Client¥;XSystemRootX¥system32;XSystem %SystemRootX¥System32¥Wbem;XSYSTEMROOTX¥System32¥WindowsPowerShelI¥v1.0¥;C:¥Program Files ¥Intel(R) Management Engine Components¥DAL;C:¥Program Files¥Intel¥Intel(R) Management Engine Components¥IPT;C:¥Program Files (x86)¥Intel¥Intel(R) Management Engine Components¥DAL;C:¥F Files (x86)¥Intel¥Intel(R) Management Engine Components¥IPT;C:¥Program Files (x86)¥Common ¥Roxio Shared¥DLLShared¥;C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥TortoiseSVN¥bin;C:¥Program (x86)¥Microsoft SQL Server¥100EMV4udioCore¥;C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥100 ¥;%USERPROFILEX¥.dnx¥bin;C:¥Program Files¥Microsoft DNX¥Dnvm¥;C:¥Program Files¥Microsoft S ¥120¥Tools¥Binn¥;C:¥Program Files (x86)¥Windows Kits¥10¥Windows Performance Toolkit¥;C:¥Pr Files (x86)¥Microsoft Emulator Manager¥1.0¥;C:¥Program Files (x86)¥nodejs¥;C:¥Program Files ¥120¥Tools¥Binn¥;C:¥Program Files (x86)¥Windows Kits¥10¥Windows Performance Toolkit¥;C:¥Pr Files (x86)¥Microsoft Emulator Manager¥1.0¥;C:¥Program Files (x86)¥nodejs¥;C:¥Program Files ¥cmd;C:¥ProgramData¥Oracle¥Java¥javapath]	art e¥VN gram Root Inte rogr File ed¥; File S¥Gi s¥Gi	Wware n Fi 1%; el ram es ;C: les S¥Bin Serve am it	e les nn er	< >

「;」で区切られている各変数値のうち、以下の2つのパス

$C: \label{eq:constraint} C: \ensuremath{\$Program}\ Files \ensuremath{\$AdoptOpenJDK}\ \ensuremath{\$jdk}\ \ensuremath{\$8.0.212.04}\ \ensuremath{\verb+hotspot}\ \ensuremath{\$bin}\ \ensuremath{;}\ \ensuremath{\$files}\ \ensuremath{\starsmath{\star$

C:\Program Files\IcedTea-Web\WebStart\bin;

を

C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath; より後ろに移動します。

[変更後の例]

	無題 - メモ帳 -	□ ×
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥ 8.0.212.04-hotspot¥bin;C:¥Program Files¥Ice vSphere CLI¥Peri¥site¥bin;C:¥Program Files (x86)¥Intel¥iCLS Client¥;C:¥Program Files¥I %SystemRoot%¥System32¥Wbem;%SYSTEMROOT%¥Sys ¥Intel(R) Management Engine Components¥DAL; Components¥IPT;C:¥Program Files (x86)¥Intel Files (x86)¥Intel¥Intel(R) Management Engir ¥Roxio Shared¥DLLShared¥;C:¥Program Files (¥Program Files (x86)¥Roxio 2010¥OEM¥AudioCc (x86)¥Microsoft SQL Server¥100¥Tools¥Binn¥; ¥;%USERPROFILE%¥.dnx¥bin;C:¥Program Files (x86)¥Wir Files (x86)¥Microsoft Emulator Manager¥1.0¥ ¥cmd;C:¥ProgramData¥Oracle¥Java¥javapath	<pre>#Java¥javapath;C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk- edTeaWeb¥WebStart¥bin;C:¥Program Files (x86)¥VMware¥ (x86)¥VMware¥VMware vSphere CLI¥PerI¥bin;C:¥Program Intel¥iCLS Client¥;%SystemRoot%¥system32;%SystemRoot stem32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥;C:¥Program Files¥Inte ;C:¥Program Files¥Intel¥Intel(R) Management Engine i¥Intel(R) Management Engine Components¥DAL;C:¥Prog ne Components¥IPT;C:¥Program Files (x86)¥Common File (x86)¥Common Files¥Roxio Shared¥OEM¥12.0¥DLShared¥; ore¥;C:¥Program Files(x86)¥Microsoft SQL Server¥100¥DTS Microsoft DNX¥Dnvm¥;C:¥Program Files¥Microsoft SQL S hdows Kits¥10¥Windows Performance Toolkit¥;C:¥Program files¥G; e;C:¥Program Files (x86)¥nodejs¥;C:¥Program Files¥Gi</pre>	VMware Files %; am s C: es WBinn erver m t
		\sim

メモ帳などのエディタで全ての変数値をコピーし、『システム変数の編集』ダイアログボックスの変数 値に貼り付け、OKをクリックします。

環境変数ダイアログで OK をクリックします。

	環境変数
のユーザー環	堤灾数(U)
変数	値
PATH	C:¥Users¥
TEMP	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp
ТМР	%USERPROFILE%¥AppData¥Local¥Temp
7二/理 :在亦 粉/c)	新規(N) 編集(E) 削除(D)
ステム環境変数(S) 変数	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値
ステム環境変数(S) — 変数 OS	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT
ステム環境変数(S) - 変数 OS Path	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥Common Files
ステム環境変数(S) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_AR	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥Common Files .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.J AMD64
ステム環境変数(S) 変数 OS Path PATHEXT PROCESSOR_AR	新規(N) 編集(E) 削除(D) 値 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥Common Files .COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.J AMD64 新規(W) 編集(I) 削除(L)

設定後の Java の版数を確認します。

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のように表示さ れていることを確認してください。



上記は、Oracle Java (jre-8u201-windows-i586.exe) となっている例です。

また、jnlp ファイルを Oracle Java から起動したい場合は、<u>3.5 章</u>の jnlp ファイルと Java の関連付けを 参照してください。 現在の Java が Oracle Java 設定となっている場合に、OpenJDK ベースの Java 設定に切り替える際 は、同様に C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin と、 C:¥Program Files¥IcedTeaWeb¥WebStart¥bin を C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath より前に移動します。

Windows 10 (32/64 bit)のクライアント端末についても、OpenJDK ベースの Java 設定に切り替える場合は、

 $C: \label{eq:constraint} C: \ensuremath{\$Program}\ Files \ensuremath{\$AdoptOpenJDK}\ \ensuremath{\$jdk}\ \ensuremath{\$8.0.212.04}\ \ensuremath{\verb+hotspot}\ \ensuremath{\$bin}\ \ensuremath{\checkmark}\ \ensuremath{\clubsuit}\ \ensuremath{\$bin}\ \ensuremath{\bin}\ \ensuremath\bin\ \ensuremath{\bin}\ \ensuremath\bin\$

C:¥Program Files¥IcedTeaWeb¥WebStart¥bin $\,\pounds\,$

 $\label{eq:c:Program Files (x86) Common Files Oracle Java Java Files (x86) Common Files Oracle Java Files (x86) Common Files Oracle Files (x86) O$

または

C:¥Program Files¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath より上に移動します。

Oracle Java 設定に切り替える場合は、

C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath または C:¥Program Files ¥Common Files¥Oracle¥Java¥javapath

を

 $C: \label{eq:constraint} C: \ensuremath{\$Program}\ Files \ensuremath{\$AdoptOpenJDK}\ densuremath{JDK}\ densuremath{\$jdk}\ s. 0.212.04 \mbox{-} hot \ensuremath{\texttt{spot}}\ bin\ \ensuremath{\clubsuit}\ densuremath{\$pot}\ densuremath{\textttpot}\ densuremath{\$pot}\ densuremath{\$pot}\ densuremath{\textttpot}\ densuremath{\$pot}\ densuremath{\textttpot}\ densuremath{\pot}\ densuremath{pot}\ densuremath{$

C:¥Program Files¥IcedTeaWeb¥WebStart¥bin より上に移動します。

path の移動方法は、<u>2.2.4 章</u>(Windows 10 (64 bit))の手順 2、または <u>2.2.6 章</u>(Windows 10 (32 bit))の 手順 3 を参照して下さい。

2.4 OpenJDK ベースの 64bit と 32bit Java の切替方法について

システムタイプが 64bit 版 OS のクライアント端末には OpenJDK ベースの 64bit 版と 32bit 版の OpenJDK を同時にインストールすることが可能です。

クライアント端末で OpenJDK ベースの 64bit 版と 32bit 版の Java の切り替え方法を記載します。

例として、Windows 10(64 bit) のクライアント端末に OpenJDK の 64bit 版と 32bit 版をインストール している場合を示します。

[Java の切り替え前]

OS: Windows10(64bit)

Java: 以下の OpenJDK ベースの 64bit 版と 32bit 版 Java をインストール済で 64bit 版 Java が有効な 状態

- OpenJDK の 64bit 版 (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u232b09.msi)
- OpenJDK の 32bit 版 (OpenJDK8U-jdk_x86-32_windows_hotspot_8u232b09.msi)
- 手順1. 現在の Java の版数を確認します。

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のよう に表示されていることを確認してください。



上記は 64bit 版 OpenJDK (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u232b09.msi) が設定 されている例です。

手順2. 環境変数の path 設定

OpenJDK ベースの Java を混在させている場合、64bit 版と 32bit 版 Java の優先設定をするため、以下の手順を実施してください。

環境変数 path を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。 システムの詳細設定をクリックします。

<u> </u>		>	×
← → י זעכ א 🖳 אםאעכ א	ール パネル ゝ システムとセキュリティ	> システム v む の コントロール パネルの検索	
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	な情報の表示) ^
リモートの設定	Windows ()171/32		
💡 システムの保護	© 2019 Microsoft Corp	poration. All rights reserved.	
🌗 システムの詳細設定			
	システム		
	プロセッサ:	Genuine Intel(R) CPU @ 2.60GHz 2.60 GHz (2プロセッサ)	
	実装メモリ (RAM):	4.00 GB	
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ	
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません	
	コンピューター名、ドメインおよび	パワークグループの設定	
	コンピューター名:	● 一般定の変更	
	フル コンピューター名:		
関連項目	コンピューターの説明:		
セキュリティとメンテナンス	ワークグループ:	WORKGROUP	
			~

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

システムのプロパティ	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。 パフォーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定(S)	
ユーザー プロファイル サインインに関連したデスクトップ設定	
設定(E)	
起動と回復	
システム起動、システム障害、およびテハック情報 設定(T)	
環境変数(N)	
OK キャンセル 適用(A	.)

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の Path 表示箇所をクリック後に、編集をクリック します。

OpenJDK ベースの 64bit と 32bit 版 Java を混在させている場合、優先させたい OpenJDK ベ ースの Java の変数をクリックした後、上へをクリックし、他方より上に移動します。 『環境変数名の編集ダイアログ』変更後に OK をクリックします。

境変数名の編集 	:
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin	新規(<u>N</u>)
C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin	
%SystemRoot%¥system32	編集(<u>E</u>)
%SystemRoot%	
%SystemRoot%¥System32¥Wbem	参照(<u>B</u>)
%SYSTEMROOT%¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥	
%SYSTEMROOT%¥System32¥OpenSSH¥	削除(<u>D</u>)
C:¥Program Files¥lcedTeaWeb¥WebStart¥bin	
	上へ(<u>U</u>)
	下へ(<u>O</u>)
	ニキフトの毎年(五)
	テキストの福美(工)
	_
ОК	キャンセル

上記は 64bit 版 AdoptOpenJDK (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u232b09.msi) が 設定されている例です。 32bit 版 Java を優先させます。

64bit 版の変数例:『C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin』 32bit 版の変数例:『C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin』 (変数値はインストールした AdoptOpenJDK の版数により変わります)

32bit 版の変数が 64bit 版よりも上に移動したこと確認し、OK をクリックします。

境変数名の編集	×
C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin	新規(<u>N</u>)
C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin	
%SystemRoot%¥system32	編集(<u>E</u>)
%SystemRoot%	
%SystemRoot%¥System32¥Wbem	参照(<u>B</u>)
%SYSTEMROOT%¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥	
%SYSTEMROOT%¥System32¥OpenSSH¥	削除(<u>D</u>)
C:¥Program Files¥lcedTeaWeb¥WebStart¥bin	
	上へ(<u>U</u>)
	下へ(<u>O</u>)
	テキフトの頃住(T)
	テキストの福来(1)
	_
	_
OK	キャンヤル
	112 C/V

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

変数	值	
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive	
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;	
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp	
	新担(N)))
	3135(1) ¹¹¹ 3853(2) ¹¹¹ 13313(2)	· ·
ステム環境変数(S)		
ステム環境変数(S)	4	
ステム環境変数(S) 変数	值	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	-
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData	-
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot	-
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4	-
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS	値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT	
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin;	1
ステム環境変数(S) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	/值 C+Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin; .COM:.EXE::BAT:.CMD:.VBS:.VBE:.JS:.JSE.WSF:.WSH:.MSC	

新しくコマンドプロンプトを開き、java -version と入力し、エンターを押します。以下のよう に表示されていることを確認してください。



上記は 32bit 版 OpenJDK(OpenJDK8U-jdk_x86-32_windows_hotspot_8u232b09.msi)が設 定されている例です。

手順 3. 環境変数 JAVA_HOME の設定

環境変数 JAVA_HOME を設定します。

『コントロールパネル』→『システムとセキュリティ』→『システム』を開きます。 システムの詳細設定をクリックします。

🖳 システム			-	
🔶 -> -> 🛧 🕎 -> -> רבי	ール パネル ゝ システムとセキュリティ :	> ১Հ৮০ 🗸 ত	、 ク コントロール パネルの検索	
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	な情報の表示		•
👽 デバイス マネージャー	Windows のエディション			
♥ リモートの設定	Windows 10 Enterprise			10
🌗 システムの保護	© 2019 Microsoft Corp	oration. All rights reserved.	Windows	10
🥊 システムの詳細設定				
	システム			
	プロセッサ:	Genuine Intel(R) CPU @ 2.60GH	Iz 2.60 GHz (2 プロセッサ)	
	実装メモリ (RAM):	4.00 GB		
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、×	64 ベース プロセッサ	
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッ	チ入力は利用できません	
	コンピューター名、ドメインおよび	ワークグループの設定		
	コンピューター名:		● 設定の変	更
	フル コンピューター名:			
関連項目	コンピューターの説明:			
セキュリティとメンテナンス	ワークグループ:	WORKGROUP		
	145モンク設証			~

『システムのプロパティ』ダイアログの詳細設定タブ内の環境変数をクリックします。

シュフテレのプロパティ	~
	~
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどは変更できません。	
視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定(S)	
- ユーザー ブロファイル	
サインインに関連したデスクトップ設定	
設定(E)	
起動と回復	
システム起動、システム障害、およびデバッグ情報	
設定(T)	
環境変数(N)	
OK キャンセル 適用(A	

『環境変数』ダイアログのシステム環境変数の JAVA_HOME を選択して編集をクリックします。

変数	値
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
	新担(N)
	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(S)	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(<u>S</u>)	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>) 値
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec	新規(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥DriverS¥DriverData
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥DriverS¥DriverData C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 C*Windows¥system32¥cmd.exe C*Windows¥System32¥DriverS*DriverData C*¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 C¥Windows¥system32¥cmd.exe C¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C;¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 C+Windows¥system32¥cmd.exe C+Windows¥System32¥DriverS4DriverData C+¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C+¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin;
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	新現(Ŋ) 編集(E) 削除(D) 値 Ci¥Windows¥system32¥cmd.exe Ci¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData Ci¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT Ci¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin; .COM.:EXE:.BAT.:CMD:.VBS:.VBE:.JS:.JSE::WSF:.WSF:.MSC

JAVA_HOME を選択して編集をクリックした場合、『システム変数の編集』ダイアログがでます。

システム変数の編集		>	<
変数名(<u>N</u>):	JAVA_HOME]
変数値(<u>V</u>):	C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot]
ディレクトリの参照(<u>D</u>)	. ファイルの参照(<u>F</u>)	OK キャンセル]

上記は 64bit 版 AdoptOpenJDK (OpenJDK8U-jdk_x64_windows_hotspot_8u232b09.msi) が 設定されている例です。 以下を設定し、OK をクリックします。

変数名:『JAVA_HOME』、

AdoptOpenJDK の場合

変数値:『C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot』 (変数値はインストールした AdoptOpenJDK の版数により変わります)

Eclipse Adoptium JDK の場合

変数値:『C:¥Program Files (x86)¥Eclipse Adoptium¥jdk-8.0.322.6-hotspot』

(変数値はインストールした EclipseAdoptiumJDK の版数により変わります)

システム変数の編集	>	(
変数名(<u>N</u>):	JAVA_HOME	
変数値(<u>V</u>):	C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot	
ディレクトリの参照(<u>D</u>).	ファイルの参照(<u>F</u>) OK キャンセル	

『環境変数』ダイアログで OK をクリックします。

ot 01-9-環境変数(<u>0</u>)	
変数	值
OneDrive	C:¥Users¥root¥OneDrive
Path	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Microsoft¥WindowsApps;
TEMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
TMP	C:¥Users¥root¥AppData¥Local¥Temp
	新規(<u>№</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(S)	新規(<u>N</u>) 福集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(<u>S</u>)	新規(<u>N</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>D</u>)
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数	新規(N) 編集(E) 削除(D)
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec	新規(11) 編集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData	新規(11) 編集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME	新規(1) 編集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OC	新規(1) 福集(E) 削除(D) 值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Deate	新規(1) 福集(E) 削除(D) 值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATLIEYT	新規(1) 福集(E) 削除(D) 值 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥System32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin; C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin;
ステム環境変数(<u>S</u>) 変数 ComSpec DriverData JAVA_HOME NUMBER_OF_PROCESSORS OS Path PATHEXT	新規(1) 福集(E) 削除(D) 値 C:¥Windows¥system32¥cmd.exe C:¥Windows¥system32¥Drivers¥DriverData C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot 4 Windows_NT C:¥Program Files (x86)¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.232.09-hotspot¥bin; .COM:.EXE:.BAT.:CMD:.VBS:.VBE:.JS:.JSE:.WSF:.WSH:.MSC

新しくコマンドプロンプトを開き、set JAVA_HOME と入力し、エンターを押します。以下の ように表示されていることを確認してください。



上記は 32bit 版 OpenJDK(OpenJDK8U-jdk_x86-32_windows_hotspot_8u232b09.msi)が設 定されている例です。

システムを再起動します。

3. Video Redirection (Java)の起動方法について

3.1 PRIMEQUEST1000 シリーズでの Video Redirection (Java)の起動方法

PQ1000 シリーズでは全ての本体ファームウェアで MMB WebUI から Video Redirection を起動します。

[注意]

本体ファームウェア版数: SA17041、SB17041 以前の版数の場合、以下の画面が現れ、Video Redirection の起動に失敗する場合があります。



その場合は【付録 5】を参照し、Javaの設定を変更してください。

MMB WebUI で、Partition >Partition#X >Console Redirection に移動し、Video Redirection にチェッ クを入れ、「Apply」をクリックします。

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status: dministration Network Config	PRIMEQUEST 1800E MCD3AC111 Normal uration Maintenance	Active:MMB#0
 Partition >Partition#0 >Cd Power Control Schedule DVD Switch Console Redirection Set Partition Configuration Reserved SB Configurat Partition#0 Information ASR Control Console Redirection Mode Partition#1 Partition#2 	Console Redirection Console Redirection Select an operation and click Operation Ovideo Redirection Orext Console Redire	k the Apply button.	Help
×	マ XXから avr_iRMC_S2.jnlp を開くか、	Apply Cancel または保存しますか? ファイルを開く(O) 保存(S)	 ▼ キャンセル(C) × ● 100% ▼

以下の画面のように「1 個のポップアップがブロックされました。」が表示される場合は、【付録 9】を参照して、ブラウザの設定を変更してください。



ブラウザに以下の画面が表示される場合は、【付録 11】を参照してブラウザの設定を変更してください。



以下の手順で、コマンドプロンプトから avr_iRMC_S2.jnlp ファイルを実行してください。

- コマンドプロンプトを起動、
 以下コマンドプロンプトで実行
- 2) 「cd C:¥Users¥Owner¥Downloads」を実行(※ユーザが Owner の場合)
- 3) 「avr_iRMC_S2.jnlp」を実行

詳細は、【付録 10】を参照してください。

(OpenJDK ベースの Java の場合)

Yes を選択します。





Run を選択します。

Security Warning	×
The application's digital signature cannot be verified. Do you want to run the application? It will be granted unrestricted access to your computer.	
Name: iRMC S4 Advanced Video Redirection Viewer Publisher: AMI From: Always trust content from this publisher	
Run Sandbox E Cancel	
The digital signature could not be verified by a trusted source. Only run if you trust the origin of the application. The code executed will be given full permissions, ignoring any Java policies you may have.	

Yes を選択します。

0		×
	Redirection) from http:// xx.xx.xx/ uses resources from the following remote locations:	
<u> </u>	 file:/C:/Users/user/Downloads http:// xx.xx.xx/ Java/release 	
	Be very careful when application is loading from different space then you expect. Are	
For mor <u>JAR File</u> and <u>Preventi</u>	e information see: <u>e Manifest Attributes</u> ing the Repurposing of an Application	
	Yes	
Rem	ember this option?	
For a	applet O For site <u>http:// xx.xx.xx.xx/</u>	

Image: Second Standy Control Control - IRMC S2/S3 Advanced Video Redirection -<

Video Redirection 起動画面例

[注意]

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンド プロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxx¥xxxxx failed」 といった出力がされますが、動作には影響ありません。

ご参考

MMB WebUI で、 Partition >Partition#X >Console Redirection で、Text Console Redirection にチ ェックを入れ、「Apply」をクリックした場合、以下の画面が現れ、Text Console Redirection の起動に 失敗する場合があります。

•				Error	×
x	Fatal: Initialization Show Details	Error: Could Purge	not initialize applica Java Console	tion. The application has not been initialized, for more information execute javaws from t	he command lin
				OK	

その場合は【付録 5】を参照し、Java の設定を変更してください。

3.2 PRIMEQUEST2000 シリーズでの Video Redirection (Java)の起動方法

3.2.1 本体ファームウェア版数 BA18112,BB18111,BC18111 以前の場合の起動方法 PQ2000 シリーズの OpenJDK 未対応版の本体ファームウェアで Video Redirection を起動する場合に 使用します。

[注意]

 クライアント端末側(システムタイプが 64bit,32bit ともに) にインストールする OpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。 (2.2 章の 4 項の注意事項の内容になります)

手順 1. Video Redirection 起動用ツールを入手

PRIMEQUEST 2000 シリーズ

以下のサイトからダウンロードが可能です。

PRIMEQUEST	公開サイト		
2000 シリーズ	Fujitsu Server PRIMEQUEST 2000 シリーズ 留意事項		
	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/		
	2000/catalog/manual/support/index.html		
	Video Redirection 起動用ツール		
	(PQ2000VR_19021.jar)		

手順 2. PQ2000 用 Video Redirection ツールで起動(PQ2000VR_19021.jar の例)

コマンドプロンプトから java -jar PQ2000VR_19021.jar と入力し、エンターを押してください。 (クライアント端末上にフォルダを作成し、ツールを置いて使用してください)



手順 3. Video Redirection 接続情報を入力します。

	Launch
Host IP Address :	
Secure Web Port : N/A	
Username : N/A	
Password : N/A	
Language :	EN - English
Click ar	ny of the buttons below to proceed.
Remote KVM / vI	Media Manage Video Cancel

以下を設定し、「Remote KVM/vMedia」をクリックします。

Host IP address : MMB WebUI Partition -> Console Redirection で設定した IP address

Video Redirection 起動画面例



[注意] (ツールを使用する場合の留意事項となります)

- Video Redirection のタイトルが以下の表示となる。
 『JViewer IP address』
- 2. メニューに Power が表示される。

その他の注意

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンドプロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxxx failed」といった出力がされますが、動作には影響ありません。

3.2.2 本体ファームウェア版数 BA19022,BB19022,BC19022 以降の場合の起動方法 MMB WebUI で、Partition>Partition#X>Console Redirection に移動し、Video Redirection にチェッ クを入れ、「Apply」をクリックします。

FUĴÎTSU	Model: Part Number: Serial Number: Status:	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111	Active:MMB#0
System Partition User Ad	ministration <u>Network Configurati</u> nsole Redirection	ion <u>Maintenance</u>	Logout V
Power Control Schedule Console Redirection S Partition Configuration Partition#3 Extended 1 Extended Socket Con Reserved SB Configur Power Management S Partition#0 Partition#1 Information ASR Control Console Redirection Mode	Console Redirection Check the operation and click the Operation Video Redirection	e Apply button.	Help
Partition#2 Partition#3 Partition#4	から avr_iRMC.jnlp を開くか、また	とは保存しますか? ファイルを開く(O) 保存(S) ▼	× キャンセル(C) € 100% -

(BA19022 の例)

本体ファームウェア版数 BA19071,BB19101,BC19071 以降の Console Redirection 画面は以下になります。

FUJITSU	Model: Part Number: Serial Number: Status: <u>dministration</u> <u>Network Configurat</u>	PRIMEQUEST 2800E MCF3AC111 <u>Warning</u> ion Maintenance	Active:MMB#1 Logout	
 Power Control Schedule Console Redirection Setti Partition Configuration Extended Socket Configurati Power Management Setti Portition#0 Information ASR Control Console Redirection Mode 	Console Redirection Check the operation and click th Operation © Video Redirection O Video Redirection(HTM)	e Apply button.	Help]
K	から avr_iRMC.jnlp を開くか、また	は保存しますか? ファイルを開く(O) 保存(S) ▼	× キャンセル(C) ® 100% ・	\$

(BA19071 の例)

以下に該当する場合は、「保存」をクリックし、「<u>3.5 jnlp ファイルと Java の関連付け</u>」を実施します。 ・Video Redirection 初回起動の場合

- ・Oracle Java または OpenJDK ベースの Java をインストールした後の初回起動の場合
- ・Oracle Java 設定と OpenJDK ベースの Java 設定を切り替えた(2.3章) 後の初回起動の場合

その他の場合は「ファイルを開く」をクリックします。

また、ブラウザの下部に「ファイルを開く」、「保存」が表示されない場合は、「<u>3.5 jnlp ファイルと Java</u> の関連付け」の[注意]を参照してください。

(OpenJDK ベースの Java の場合)

Yes を選択します。

Security Warning	×
The website's HTTPS certificate cannot be verified. Do you want to continue	??
Name: iRMC Publisher: iRMC Always trust content from this publisher	
	Yes No
The digital signature could not be verified by a trusted source. Only run if you trust the moorigin of the application.	re Information



Run を選択する。



Yes を選択する。

0		×
	Redirection) from http:// xx.xx.xx/ uses resources from the following remote locations:	
	 file:/C:/Users/user/Downloads http:// xx.xx.xx./ Java/release 	
	Be very careful when application is loading from different space then you expect. Are	
For more <u>JAR File</u> and <u>Preventin</u>	e information see: <u>Manifest Attributes</u> ag the Repurposing of an Application	
	Yes	
Reme	mber this option?	
● For apple of the second	oplet O For site <u>http://_xx.xx.xx</u> /	

Video Redirection 起動画面例



[注意]

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンド プロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxx¥xxxxx failed」 といった出力がされますが、動作には影響ありません。 3.3 PRIMEQUEST3000 シリーズ Enterprise Model での Video Redirection (Java)の起動 方法

3.3.1 本体ファームウェア版数 PA18112 以前の場合の起動方法

PQ3000 シリーズの **OpenJDK** 未対応版(PA18112 以前)の本体ファームウェアで Video Redirection を起動する場合に使用します。

[注意]

- クライアント端末側(システムタイプが 64bit,32bit ともに) にインストールする OpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。
 (2.2 章の4項の注意事項の内容になります)
- 2. MMB WebUI で Video Redirection の起動設定を Video Redirection (HTML5) 設定にしていた場合 (>Partition >Partition#x >Console Redirection)

ツールが起動できないので、予め Video Redirection の方にチェックが入っていること(以下の画像の状態となっていること)を確認し、Apply をクリックしてください。

この際に起動する Video Redirection は、閉じてください。

FUĴĨTSU	Model: Part Number: Serial Number:	PRIMEQUEST 3800E MCJ3AC111 LB2	Active:MMB#0 ^
Statem Doutition Unor	Status: Administration Network Co	Marning	Logant
>Partition >Partition#0 >0	Console Redirection	Minguration Maintenance	Logour
Power Control Schedule	*	Console Redirection	Нер
Console Redirection Se Partition Configuration Extended Socket Config	rup guration	Select an operation and click the Apply button.	
 Reserved SB Configura Power Management Set eLCM Setup 	tion tup	Operation © Video Redirection	
Partition#0 Information ASR Control		O video Redirection(H1ML5)	
Console Redirection			
 eLCM Redirection Partition#3 			

Apply Cancel

د ،

手順 1. Video Redirection 起動用ツールを入手

PRIMEQUEST 300	0 シリーズ Enterprise Model
PRIMEQUEST	公開サイト

PRIMEQUEST	公開サイト
3000 シリーズ	Fujitsu Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ 留意事項
	https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/
	<u>3000/catalog/</u>
	Video Redirection 起動用ツール
	(PQ3000VR_19021.jar)

手順 2. PQ3000 用 Video Redirection ツールで起動(PQ3000VR_19021.jar の例)

コマンドプロンプトから java -jar PQ3000VR_19021.jar と入力し、エンターを押してください。 (クライアント端末上にフォルダを作成し、ツールを置いて使用してください)



手順 3. Video Redirection 接続情報を入力します。

	Launch	
Host IP Address :		
Secure Web Port : N/A		
Username : N/A		
Password : N/A		
Language :	English - [EN]	
Application Type :	Remote KVM/VMedia	
Launch KVM Client application with Virtual Media support.		
Launch		

以下を設定し、Launch をクリックします。

Host IP address : MMB WebUI Partition > Console Redirection で設定した IP Address

Yes をクリックします。

Untrusted Connection
The connection to the server cannot be trusted. Do you wish to continue? Possible reasons: 1. Invalid server certificate. 2. Certificate validity expired. 3. Invalid host name.

Video Redirection 起動画面例



[注意] (ツールを使用する場合の留意事項となります)

1. Video Redirection のタイトルが以下の表示となる。

[JViewer - IP address]

2. メニューに Power が表示される。

その他の注意

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンドプロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxxx failed」といった出力がされますが、動作には影響ありません。

3.3.2 本体ファームウェア版数 PA19024, PB19032 以降の場合の起動方法

PQ3000 シリーズ Enterprise Model の OpenJDK 対応版の本体ファームウェアで Video Redirection を起動する場合に使用します。

MMB WebUI で、Partition >Partition#X >Console Redirection に移動し、Video Redirection にチェッ クを入れ、「Apply」をクリックします。

	Model:	PRIMEQUEST 3800E	Active:MMB#0
FUITSU	Part Number: Serial Number:	PQ3800E	
rojnoo	Status:	Normal	
System Partition User A	dministration Network Co	nfiguration Maintenance	Logout
>Partition >Partition#1 >Co	onsole Redirection		~
 Power Control Schedule 	Console Redirecti	01	Help
 Console Redirection Partition Configuration 	Select an operation and cli	ck the Apply button.	^
 Extended Socket Con Reserved SB Configu 	Operation		
Power Management S	Video Redirection		
eLCM Setup E Portition#0	○ Video Redirection()	HIMLS)	
□ Partition#1			
Information			
ASR Control Connota Redimentia			
□ Console Redirectic			
eLCM Redirection			
Partition#3			
			~
~		Apply Cancel	^
< >			~
			🔍 100% 🔻 🔡

以下に該当する場合は、「保存」をクリックし、「<u>3.5 jnlp ファイルと Java の関連付け</u>」を実施してくだ さい。

- ・Video Redirection 初回起動の場合
- ・Oracle Java または OpenJDK ベースの Java をインストールした後の初回起動の場合
- ・Oracle Java 設定と OpenJDK ベースの Java 設定を切り替えた(2.3 章) 後の初回起動の場合

その他の場合は「ファイルを開く」をクリックします。

また、ブラウザの下部に「ファイルを開く」、「保存」が表示されない場合は、「<u>3.5 jnlp ファイルと Java</u> <u>の関連付け</u>」の[注意]を参照してください。

(OpenJDK ベースの Java の場合) Yes を選択する。





Run を選択します。



Yes を選択します。

0		×
	Redirection) from http:// xx.xx.xx/ uses resources from the following remote locations:	
	 file:/C:/Users/user/Downloads http:// xx.xx.xx/ Java/release 	
	Be very careful when application is loading from different space then you expect. Are	
For more <u>JAR File</u> and <u>Preventin</u>	information see: <u>Manifest Attributes</u> ig the Repurposing of an Application	
	Yes	
Reme	mber this option?	
● For apple of the second	pplet O For site <u>http:// xx.xx.xx.</u> /	
Video Redirection 起動画面例



[注意]

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンド プロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxx¥xxxxx failed」 といった出力がされますが、動作には影響ありません。

3.4 PRIMEQUEST3000 シリーズ Business Model での Video Redirection (Java)の起動方 法

3.4.1 iRMC ファームウェア版数 1.70Q 以前の場合の起動方法

PQ3000 Business Model の OpenJDK 未対応版(1.70Q 以前)の iRMC ファームウェアで Video Redirection を起動する場合に使用します。

[注意]

- クライアント端末側(システムタイプが 64bit,32bit ともに) にインストールする OpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。
 (2.2 章の4項の注意事項の内容になります)
- 2. iRMC WebUI で Video Redirection の起動設定を HTML5 設定にしていた場合

(>Setting >Services >Advanced Video Redirection (AVR))

ツールが起動できないので、予め Favor HTML5 over Java Applet のチェックのチェックを外し、 Apply をクリックしてください。

iRMC S5 Web Server						⊕ Language ∽	🚨 admin 🗡	Help 🗸	FUJITSU
System Logs	Tools	Settings						ID CSS	▲ 🕐
System Network Management	Services								
Services User Management Server Management Power Management	 Web Access Console Access IPMI Access Simple Service D Advanced Video 	Discovery Protocol (SSDI Redirection (AVR))						
Logging Baseboard Management Controller	HTML5 Viewer	Redirection (AVA)	Favor HTML5 over Java Applet If you enable/disable the HTML5	viewer all active Java AVR sest	sions will be stopped. The video	o redirection service will remai	in unavailable for	about 15	
	Active Window Title		The following parameters are su WUSER% WAMC.NAMES WAMC.JP% WCHASSIS.TYPE% SSYSTEM_TYPE% SSYSTEM_TYPE% SSYSTEM_TYPE% SSYSTEM_TYPE% SSYSTEM_NAME% SSYSTEM_NAME% SSYSTEM_NAME% SSYSTEM_OS% SASSET_TAG%	pported:					
Model Name: PRIMEQUEST 38008 Host Name: PQ3000 Asset Tag: System Asset Tag IBMC Time: Tug East 14, 2019 9-14 AM	Default Mouse Mod	ie control	Relative mouse mode	•			_A	pply Cance	1

手順 1. Video Redirection 起動用ツールを入手

PRIMEQUEST	3000	Business	Model	シリーズ
------------	------	----------	-------	------

PRIMEQUEST	公開サイト
3000 シリーズ	http://support.ts.fujitsu.com/Download

手順 2. PQ3000 Business Model 用 Video Redirection ツールで起動(PQ3000B_VR_19021.jar の例) コマンドプロンプトから java -jar PQ3000B_VR_19021.jar と入力し、エンターを押してください。



手順 3. Video Redirection 接続情報を入力します。

	Launch			
Host IP Address :				
Secure Web Port :				
Username :				
Password :				
Language :	English - (EN) 💌			
Application Type :	Remote KVM/VMedia			
Launch KVM Client application with Virtual Media support.				
	Launch			

以下を設定し、Laun	ch	をクリックします。
Host IP address	:	$iRMC \oslash IP Address$
Secure Web Port	:	443
Username	:	作業用 Username
Password	:	作業用 Username の Password

Yes をクリックします。

A The connection to the server cannot be trusted	Untrusted Connection
Do you wish to continue? Possible reasons: 1. Invalid server certificate. 2. Certificate validity expired. 3. Invalid host name. <u>Yes</u> <u>No</u>	The connection to the server cannot be trusted. Do you wish to continue? Possible reasons: 1. Invalid server certificate. 2. Certificate validity expired. 3. Invalid host name.

Video Redirection 起動画面例



[注意] (ツールを使用する場合の留意事項となります)

- Video Redirection のタイトルが以下の表示となる。 『JViewer - IP address』
- 2. Network Interface で、Shared LAN Port を使用している場合、Power On 時に以下のように Video Redirection の接続が切れることがあります。



この場合、一度 Video Redirection 画面を閉じ、再度手順 1~手順 3 を実施し、Video Redirection を再起動してください。

その他の注意

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンドプロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxxx failed」といった出力がされますが、動作には影響ありません。

3.4.2 iRMC ファームウェア版数 1.75Q, 2.40Q 以降の場合の起動方法

PQ3000 Business Modelの OpenJDK 対応版の本体ファームウェアで Video Redirection を起動する場合に使用します。

iRMC WebUI で、Launch Advanced Video Redirection をクリックし、Start Video Redirection をクリ ックする。

iRMC S5 Web Server			± admin ∨ Help ∨ FUjiTSJ
System Logs	Tools Settings		🗖 🗈 🖾 🖒
System			Start Video Redirection
O Power	Overview		
Cooling	 System Information 		
C Mass Storage	MadelName	PELIPOLISET 1824	
Software	Chassis Type	PQ3800B	
O Network	Serial Number		
C AlS Connect	Asset Tag	System Asset Tag	
	System GUID BIOS Version	467143C8-2C04-966F-E711-A73F84870D14 V1.0.0.0.R1.76.0 for D3858-A1x	
	 Operating System Information 		
	 Systemboard Information 		
	 Power Status Summary 		
	Running IRMC Firmware Active Sessions Information		
	 Installed License Keys 		
	-		
Model Name: PRIMEQUEST 38008 Host Name: ALDBRHILTSSVIM Asset Tag: System Asset Tag			
iRMC Time: 2019年2月7日 19:07 木曜日 httm://10.24.76.202/#			\$ 100% ·

ブラウザ下部に「ファイルを開く」、「保存」が現れます。

以下に該当する場合は、「保存」をクリックし、「<u>3.5 jnlp ファイルと Java の関連付け</u>」を実施してくだ さい。

- ・Video Redirection 初回起動の場合
- ・Oracle Java または OpenJDK ベースの Java をインストールした後の初回起動の場合
- ・Oracle Java 設定と OpenJDK ベースの Java 設定を切り替えた(2.3章) 後の初回起動の場合

その他の場合は「ファイルを開く」をクリックします。

また、ブラウザの下部に「ファイルを開く」、「保存」のボタンが現れない場合は、「<u>3.5 jnlp ファイルと</u> Java の関連付け」の[注意]を参照してください。

(OpenJDK ベースの Java の場合)

Yes を選択する。

Security Warning	×
The website's HTTPS certificate cannot be verified. Do you want to con	tinue?
Name: iRMC Publisher: iRMC Always trust content from this publisher	Yes No
The digital signature could not be verified by a trusted source. Only run if you trust the origin of the application.	More Information



Run を選択します。

Security Warning	×
The application's digital signature cannot be verified. Do you want to run the application? It will be granted unrestricted access to your computer.	t
Name: iRMC S4 Advanced Video Redirection Viewer Publisher: AMI From: Always trust content from this publisher	
Run Sandbox E Cancel	
The digital signature could not be verified by a trusted source. Only run if you trust the origin of the application. The code executed will be given full permissions, ignoring any Java policies you may have.	

Yes を選択します。

0		×
	Redirection) from http:// $_{XX,XX,XX/}$ uses resources from the following remote locations:	
<u> </u>	 file:/C:/Users/user/Downloads http:// xx.xx.xx/ Java/release 	
	Be very careful when application is loading from different space then you expect. Are	
For mor <u>JAR File</u> and <u>Preventi</u>	e information see: <u>e Manifest Attributes</u> ng the Repurposing of an Application	
	Yes	
Reme	amber this option?	
For a	applet O For site <u>http://`xx.xx.xx.</u> /	

Video Redirection 起動画面例



[注意]

クライアント端末にインストールしている IcedTea-Web のバージョンによっては、Video Redirection 起動と同時に、コマンドプロンプト画面が現れます。その場合は、Video Redirection 起動中は本コマンド プロンプト画面を閉じないでください。また、コマンドプロンプト画面に「¥xxx¥xxxx¥xxxxx failed」 といった出力がされますが、動作には影響ありません。

3.5 jnlp ファイルと Java の関連付け

Video Redirection 起動時に使用する jnlp ファイルと Java の関連付けの手順を示します。 Jnlp ファイルのファイル名はモデルによって以下のようになっています。

PQ1000 : avr_iRMC_S2.jnlp

PQ2000, 3000 Enterprise Model : avr_iRMC.jnlp

PQ3000 Business Model : avr.jnlp

画面例は PQ1000 の場合となります。

MMB WebUI で、 Partition >Partition#X >Console Redirection に移動し、Video Redirection にチェ ックを入れ、「Apply」をクリックします。

(PQ3000 Business Model の場合は、iRMC WebUI で画面右上の Launch AVR > Start Video Redirection をクリックします。)

ブラウザの下部に「ファイルを開く」、「保存」が表示されます。

	Model:	PRIMEQUEST 1800E	Active:MMB#0
- uiller - u	Part Number:	MCD3AC111	
FUJIISU	Serial Number:		
	Status:	Normal	
System Partition User Ada	ministration Network Configu	ration Maintenance	Logout
>Partition >Partition#0 >Con	nsole Redirection		
Power Control Schedule DVD Switch	Console Redirectio	n	Help
Console Redirection Set	Select an operation and click	the Apply button.	
Partition Configuration	Operation		
Reserved SB Configurat	O Video Redirection		
Partition#0	O Tart Cassala Badiras	tion	
Information ASR Control Console Redirection Mode	U Text Console Redirec	tion	
Partition <u>xx.xx.xx</u> Partition Partition			
~	,	Apply Cancel	
10.24.18.30	0 から avr_iRMC_S2.jnlp を開くか、i	誌は保存しますか? ファイルを聞く(O) 保存(S) ▼ キャンセル(C)	× 🔍 100% 👻 🚊

「保存」を選択した後、ファイルを保存したフォルダに移動し、avr_iRMC_S2.jnlp を右クリックしま す。avr_iRMC_S2.jnlp(1) など複数ある場合、更新日時が最も新しいものを右クリックします。

以下、Windows8.1 での実施例を示します。

「プログラムから開く」→ 「既定のプログラムの選択」をクリックします。

(OpenJDK ベースの Java を選択する場合)

「すべての.jnlp ファイルをこのアプリで開く」にチェックを入れ、「その他のオプション」をクリック します。



「この PC で別のアプリを探す」をクリックます。

このファイルを開く方法を選んでください。	
✔ すべての .jnlp ファイルをこのアプリで開く	
	^
<i>1</i>	
义王帳	
ワードパッド	
▲ ストアでアプリを探す	
この PC で別のアプリを探す	~

 $"C: \ensuremath{\$ Program Files \ensuremath{\$ Iced Tea Web \ensuremath{\$ Web \ensuremath{\$ Start \ensuremath{\$ bin \ensuremath{\$ java ws.exe}"}}$

または

"C:¥Program Files¥IcedTea-Web¥WebStart¥bin¥javaws.bat" を選択します。

(IcedTea-Web の版数によって、どちらかが存在します)

(Oracle Java を選択する場合)

「すべての.jnlp ファイルをこのアプリで開く」にチェックを入れ、Java Web Launcher をクリックします。



[参考]

・ Windows10/Windows 11 の場合

「プログラムから開く」→ 「既定のプログラムの選択」をクリックします。 「常にこのアプリを使って.jnlp ファイルを開く」にチェックを入れ、「その他のアプリ」をクリック します。

このファイルを開く方法を選んでください。			
このアプリを今後も使う			
Java(TM) Web Launcher			
その他のオプション			
Microsoft Store でアプリを探す			
その他のアプリ ↓			
✓ 常にこのアプリを使って .jnlp ファイルを開く			
ОК			

「この PC で別のアプリを探す」をクリックます。

このファイルを開く方法を選んでください。			
Internet Explorer			
javaws			
Windows Media Player			
<i>愛</i> が ペイント			
✓ メモ帳			
5-F/(9F			
この PC で別のアプリを探す			
✔ 常にこのアプリを使って .jnlp ファイルを開く			
ОК			

[注意]

Oracle Java, OpenJDK ベースの Java が混在しており、現在の設定が OpenJDK ベースの Java 設定 である場合、MMB WebUI で Video Redirection にチェックを入れ、「Apply」をクリックしても、ブラ ウザの下部に「ファイルを開く」、「保存」が表示されずに Oracle Java を使用して Video Redirection が起動する場合があります。

その場合は、以下の手順を実施し、avr_iRMC.jnlp と Oracle Java の関連付けを解除してください。

『コントロールパネル』→『プログラム』を開きます。 「あるファイルの種類を特定のプログラムでオープン」をクリックします。



.jnlp をクリックし、プログラムの変更をクリックします。

図の目的では、「「「」」を見まれていた。	けを設定する			×
📀 🌛 👻 ↑ 🗷 ト コントロール パネル ト プログラム ト 既定のプログラ	ム ▶ 関連付けを設定する >	Ċ	コントロール パネル	P
☑ 関連付けを設定する × +				
ファイルの種類またはプロトコルを特定のプログラムに関連付け	ます	か 面 1 を	カリッカー アノギキロ	8
	9。既在のフロクフムを変更するには「フロクフムの3	et]"	77970 C()220%	
Oracle Corporation			プログラムの変更	
名前	説明			^
ш Jui	JBF JP110			
, jfif	JFIF ファイル			
🛄 .jnlp	JNLP File			
job	Task Scheduler Task Object			
.jod	Microsoft.Jet.OLEDB.4.0			
🗾 .jpe	JPE ファイル			
🔊 .jpeg	JPEG イメージ			
🔄 .jpg	JPEG イメージ			
.js	JS ファイル			
📓 .jse	JScript Encoded Script ファイル			
🖺 .json	JSON ファイル			
iter	VDC RHAUSK			~
			>	
			閉じる	3

一覧に「javaws.bat」が存在する場合は「javaws.bat」をクリックします。



存在しない場合は、「その他のオプション」→「この PC で別のアプリを探す」をクリックし、

 $"C: \ensuremath{\$} Program Files \ensuremath{\$} Iced \ensuremath{\texttt{TeaWeb}} \ensuremath{\$} Web \ensuremath{\$} Start \ensuremath{\$} bin \ensuremath{\$} java ws.exe"$

または

"C:¥Program Files¥IcedTea-Web¥WebStart¥bin¥javaws.bat" を選択します。

(IcedTea-Webの版数によって、どちらかが存在します)

4. Video Redirection の動作検証について

PRIMEQUEST 1000 シリーズ、PRIMEQUEST 2000 シリーズおよび PRIMEQUEST 3000 シリーズでの Video Redirection の動作検証について記載します。

MMB Web-UI 接続についての詳細については『<u>PRIMEQUEST シリーズ 各コンソール機能の Web ブ</u> <u>ラウザ動作確認情報</u>』をご確認ください。

(HTTPS 接続時に使用する TLS の詳細についても上記をご確認ください。)

4.1 Video Redirection 動作確認組み合わせについて

PRIMEQUEST 1000 シリーズ、PRIMEQUEST 2000 シリーズおよび PRIMEQUEST 3000 シリーズに ついてサポートする OS/Web ブラウザは以下の表の通りです。 (各 Web ブラウザは最新版をご利用ください。)

PRIMEQUEST	OS	Web ブラウザ	Video Redirection タイプ
1000 シリーズ	Windows 10 (32bit 版)	Firefox	Java
	Windows 10 (64bit 版)	Firefox	
	Windows 11	Firefox	
2000 シリーズ		Firefox	Java/HTML5
	Windows 10 (32bit 版)	Chrome	
		Edge	
		Firefox	
	Windows 10 (64bit 版)	Chrome	
		Edge	
		Firefox	
	Windows 11	Chrome	
		Edge	
	CentOS 7 (64bit 版)	Firefox	HTML5
3000 シリーズ (Entermying Model		Firefox	Java/HTML5
Business Model)	Windows 10 (32bit 版)	Chrome	
		Edge	
		Firefox	
	Windows 10 (64bit 版)	Chrome	
		Edge]
	Windows 11	Firefox	

PRIMEQUEST	OS	Web ブラウザ	Video Redirection タイプ
		Chrome	
		Edge	
	CentOS 7 (64bit 版)	Firefox	HTML5

[注意]

- 1. PRIMEQUEST 1000 シリーズでは、MMB WebUI に HTTPS 接続して Web ブラウザ設定 で TLS1.0/TLS1.1 を無効としていると Video Redirection を起動できません。
- PRIMEQUEST 2000 シリーズでは、本体ファームウェア版数が BA17034, BB17034, BC17034 以前までの場合、MMB WebUI に HTTPS 接続して Web ブラウザ設定で TLS1.0/TLS1.1 を無効としていると Video Redirection を起動できません。 (本体ファームウェア版数が BA17072, BB17072, BC17072 以降の場合、TLS1.0/TLS1.1 を無効としていても Video Redirection を起動できます。 ただし、BA18112,BB18111,BC18111 以前の場合の Java Viewer の起動方法(OpenJDK 対 応前)は Video Redirection 起動用ツールを使用して起動する必要があります。)
- PRIMEQUEST 2000 シリーズでは、本体ファームウェア版数が BA19022, BB19022, BC19022 以前までの場合、HTML5 Viewer はサポートしていません。 (本体ファームウェア版数 BA19071, BB19101, BC19071 以降で HTML5 Viewer をサポー トしています。)
- Internet Explorer 11 のサポートは、2022 年 6 月 16 日に終了となります。これに伴い、 Internet Explorer 11 を使用した Video Redirection の動作についてはサポート対象外にな りますのでご了承ください。
- 5. PRIMEQUEST 2000 シリーズ、および PRIMEQUEST3000 シリーズで、【付録 7】に該当 している場合は"3.発生を未然に防止する方法"を確認してください。
- PRIMEQUEST 2000 シリーズ、および PRIMEQUEST3000 シリーズで、【付録 7】に該当 している場合は"2.発生を未然に防止する方法"を確認してください。

以降の章では OpenJDK ベースの Java を使用した動作検証結果を示します。

4.2 Open JDK ベースの Java を使用した Video Redirection の動作検証結果

PRIMEQUEST 1000 シリーズ、PRIMEQUEST 2000 シリーズおよび PRIMEQUEST 3000 シリーズに ついて、各 OS のクライアント端末に OpenJDK ベースの Java をインストールした場合の Video Redirection (Java) の動作検証済 Web ブラウザついて記載します。

補足

- 1. 本章で記載している Video Redirection 起動確認に使用した各 OS と Java での検証済 Web ブラウザ との組み合わせ以外は非サポートとなりますのでご注意ください。
- Video Redirection 起動確認に使用した Web ブラウザ設定項目については、Internet Explorer 11 お よび Microsoft Edge の例を 【付録 4】に記載します。その他の Web ブラウザをご利用のさいに Video Redirection が起動できない場合については、ご利用の Web ブラウザをデフォルト設定に戻 してから再度ご確認ください。(各 Web ブラウザについてはデフォルト設定から変更しない状態で 動作検証を実施しています。)
- 3. 古い Java を使い続ける場合、重大なセキュリティ・リスクが生じますので、最新の Java 版数のご 利用を推奨します。
- 最新版 Java リリース後、その時点の各 Web ブラウザの最新版を使用して Video Redirection (Java)の動作検証を実施しています。そのため、新しい版数の Web ブラウザの利用を推奨しま す。
- 5. 表中の各 Web ブラウザの表記については以下の通りです。

IE11 : Internet Explorer11 Edge : Microsoft Edge Firefox : Mozilla Firefox Chrome : Google Chrome

■PRIMEQUEST 1000 シリーズ

(以下の組み合わせで動作検証済 Web ブラウザ)

	Windows 10	Windows 10
各 OS	(32bit)	(64bit)
OpenJDK ベース		
Java 版数		
Zulu (8u192)+	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		
Zulu (8u202) +	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		

[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u212b04) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u212b04) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u232b09) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u232b09) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u242b08) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u242b08) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u252b09) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
[32bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u252b09) +	IE11 Firefox	
[32bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u252b09) + IcedTea-Web(1.7.2)	IE11 Firefox	
[32bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u252b09) + IcedTea-Web(1.7.2) [64bit OS 用 Java]	IE11 Firefox	IE11
[32bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u252b09) + IcedTea-Web(1.7.2) [64bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u265b01) +	IE11 Firefox	IE11 Firefox
[32bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u252b09) + IcedTea-Web(1.7.2) [64bit OS 用 Java] AdoptOpenJDK (8u265b01) + IcedTea-Web(1.8)	IE11 Firefox	IE11 Firefox

[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u265b01) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u275b01) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u275b01) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u282b08) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u282b08) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u292b10) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u292b10) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u302b08) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u302b08) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u312b07) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u312b07) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		

[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u322b06) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u322b06) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u332b09) +		Firefox
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u332b09) +	Firefox	
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		Firefox
AdoptOpenJDK (8u345b01) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	Firefox	
AdoptOpenJDK (8u345b01) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		

	Windows 10	Windows 10	Windows 11
各 OS	(32bit)	(64bit)	
OpenJDK ベース			
Java 版数			
[64bit OS 用 Java]		Firefox	Firefox
Adoptium OpenJDK (8u345b01) +			
IcedTea-Web(1.8)			
[32bit OS 用 Java]	Firefox		
Adoptium OpenJDK (8u345b01) +			
IcedTea-Web(1.7.2)			
[64bit OS 用 Java]		Firefox	Firefox
Adoptium OpenJDK (8u352b08) +			
IcedTea-Web(1.8)			

[32bit OS 用 Java]	Firefox		
Adoptium OpenJDK (8u352b08) + IcedTea-Web(1.7.2)			
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u362b09) + IcedTea-Web(1.8)		Firefox	Firefox
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u362b09) + IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u372b07) + IcedTea-Web(1.8)		Firefox	Firefox
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u372b07) + IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u382b05) + IcedTea-Web(1.8)		Firefox	Firefox
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u382b05) + IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u392b08) + IcedTea-Web(1.8)		Firefox	Firefox
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u392b08) + IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox		

■PRIMEQUEST 2000 シリーズ

本体ファームウェアは、OpenJDK 未対応版(BA18112,BB18111,BC18111 以前)と OpenJDK 対応版 (BA19022, BB19022, BC19022,以降)があります。

OpenJDK 未対応版では、Video Redirection 起動用ツール(例: PQ2000VR_19021.jar)が必要となります。

(以下の組み合わせで動作検証済)

	Windows 10	Windows 10
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)
OpenJDK ベース		
Java 版数		
Zulu (8u192) +	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		
Zulu (8u202) +	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u212b04)+		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u212b04) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u232b09)+		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u232b09)		
IcedTea-Web(1.7.2)		







	Windows 10	Windows 10	Windows 11
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)	
OpenJDK ベース			
Java 版数			
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u345b01) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u345b01) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u352b08) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u352b08) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u362b09) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u362b09) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		

[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u372b07) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u372b07) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u382b05) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u382b05) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u392b08) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u392b08) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		

[注意]

Video Redirection 起動用ツールを使用する場合は、クライアント端末側(システムタイプが 64bit,32bit ともに)にインストールする AdoptOpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。 Video Redirection 起動用ツールを起動する際、誤って AdoptOpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを使 用した場合、64bit 版の Jar フォルダが作成されることによって Virtual Media が起動できなくなりま す。Video Redirection 起動用ツールを起動すると Video Redirection 起動用ツールと同じディレクトリ に Jar のフォルダ (Jar/<Video Redirection 起動用ツールで入力した Host IP address>/lib/javaclientconfwrapper.dll が含まれています)が作成されますので、この Jar のフォルダを 削除して、AdoptOpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを削除してください。

再度、AdoptOpenJDK 32bit 版用 MSI モジュールを使用して Video Redirection 起動用ツールを起動し てください。

(2.2 章の4項の注意事項の内容になります)

■PRIMEQUEST 3000 シリーズ

本体ファームウェアは、OpenJDK 未対応版(PA18112 以前)と OpenJDK 対応版(PA19024, PB19032 以降)があります。

OpenJDK 未対応版では、Video Redirection 起動用ツール(例: PQ3000VR_19021.jar)が必要となります。

(以下の組み合わせで動作検証済)

	Windows 10	Windows 10
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)
OpenJDK ベース		
Java 版数		
Zulu (8u192) +	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		
Zulu (8u202) +	IE11	IE11
IcedTea-Web(1.7.1)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u212b04)+		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u212b04) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u222b10) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u232b09) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u232b09) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		

[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u242b08) +		
IcedTea-Web(1.8)		
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u242b08) +		
IcedTea-Web(1.7.2)		
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u252b09) +		Edge
IcedTea-Web(1.8)		Firefox
		Chrome
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u265b01) +	Edge	
IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox	
	Chrome	
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u275b01) +		Edge
IcedTea-Web(1.8)		Firefox
		Chrome
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u275b01) +	Edge	
IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox	
	Chrome	
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u282b08) +		Edge
IcedTea-Web(1.8)		Firefox
		Chrome
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u282b08) +	Edge	
IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox	
	Chrome	
[64bit OS 用 Java]		IE11
AdoptOpenJDK (8u292b10) +		Edge
IcedTea-Web(1.8)		Firefox
		Chrome
[32bit OS 用 Java]	IE11	
AdoptOpenJDK (8u292b10) +	Edge	
IcedTea-Web(1.7.2)	Firefox	



OS とブラウザ版数	Windows 10 (32bit)	Windows 10 (64bit)	Windows 11
OpenJDK ベース Java 版数			
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u345b01) + IcedTea-Web(1.8)		Edge Firefox Chrome	Edge Firefox Chrome
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u345b01) + IcedTea-Web(1.7.2)	Edge Firefox Chrome		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u352b08) + IcedTea-Web(1.8)		Edge Firefox Chrome	Edge Firefox Chrome
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u352b08) + IcedTea-Web(1.7.2)	Edge Firefox Chrome		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u362b09) + IcedTea-Web(1.8)		Edge Firefox Chrome	Edge Firefox Chrome
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u362b09) + IcedTea-Web(1.7.2)	Edge Firefox Chrome		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u372b07) + IcedTea-Web(1.8)		Edge Firefox Chrome	Edge Firefox Chrome
[32bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u372b07) + IcedTea-Web(1.7.2)	Edge Firefox Chrome		
[64bit OS 用 Java] Adoptium OpenJDK (8u382b05) + IcedTea-Web(1.8)		Edge Firefox Chrome	Edge Firefox Chrome

[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u382b05) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		
[64bit OS 用 Java]		Edge	Edge
Adoptium OpenJDK (8u392b08) +		Firefox	Firefox
IcedTea-Web(1.8)		Chrome	Chrome
[32bit OS 用 Java]	Edge		
Adoptium OpenJDK (8u392b08) +	Firefox		
IcedTea-Web(1.7.2)	Chrome		

[注意]

Video Redirection 起動用ツールを使用する場合は、クライアント端末側(システムタイプが 64bit,32bit ともに)にインストールする AdoptOpenJDK は必ず 32bit 版用 MSI モジュールを使用してください。 Video Redirection 起動用ツールを起動する際、誤って AdoptOpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを使 用した場合、64bit 版の Jar フォルダが作成されることによって Virtual Media が起動できなくなりま す。Video Redirection 起動用ツールを起動すると Video Redirection 起動用ツールと同じディレクトリ に Jar のフォルダ (Jar/<Video Redirection 起動用ツールで入力した Host IP address>/lib/javaclientconfwrapper.dll が含まれています)が作成されますので、この Jar のフォルダを 削除して、AdoptOpenJDK 64bit 版用 MSI モジュールを削除してください。

再度、AdoptOpenJDK 32bit 版用 MSI モジュールを使用して Video Redirection 起動用ツールを起動し てください。(<u>2.2 章の 4 項</u>の注意事項の内容になります)

4.3 Oracle Java を使用した Video Redirection の動作検証結果

クライアント端末に Oracle Java をインストールした場合の Video Redirection (Java)の動作検証結 果を参考として記載します。

(クライアント端末から Oracle Java をアンインストールし、OpenJDK ベースの Java をインストー ルして使用することを推奨します。)

Oracle Java での Video Redirection 動作確認に使用した OS、ブラウザ、Java の各版数は以下の通りです。

- ・OS:Windows10(32bit)、Windows10(64bit)を使用
- ・ブラウザ: Internet Explorer 11(32bit)を使用

・Java : Java6(32bit)最終版、Java7(32bit)最終版、Java8(32bit)最新版を使用

動作検証済の OS/ブラウザと Oracle Java 版数は以下の表の通りです。Video Redirection(Java)をご 利用の際は、クライアント端末に動作検証済の Java 版数をインストールしてご使用ください。

補足

- 1. Video Redirection 起動確認に使用したブラウザ、Java の設定項目については、【付録 3】に記載しま す。
- 2. Java 8 更新 131 以降を適用したクライアント端末で Video Redirection が起動できない場合があり ます。その場合は<u>【付録 5</u>】で記載しております回避策を実施してください。Video Redirection が 起動できるようになることを確認しています。

■PRIMEQUEST 1000 シリーズ

(以下の組み合わせで動作検証済)

	Windows 10	Windows 10
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)
	+	+
	Internet	Internet
Java 版数	Explorer11	Explorer11
	(32bit)	(32bit)
Java6(32bit) update 45	0	0
2013 年 2 月 19 日リリース(最終版)		
Java7(32bit) update 80	0	0
2015 年 4 月 14 日リリース (最終版)		
Java8(32bit) update121	0	0
2017年1月17日リリース		
Java8(32bit) update131	〇(注1)	〇(注1)
2017年4月18日リリース		

Java8(32bit) update144	〇(注1)	〇(注1)
2017 年 7 月 26 日リリース		
Java8(32bit) update151	〇(注1)	〇(注1)
2017 年 10 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update161	〇(注1)	〇(注1)
2018年1月16日リリース		
Java8(32bit) update171	〇(注1)	〇(注1)
2018 年 4 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update181	〇(注1)	〇(注1)
2018 年7月17日リリース		
Java8(32bit) update191	〇(注1)	〇(注1)
2018 年 10 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update201	〇(注1)	〇(注1)
2019年1月15日リリース(最終版)		

○:Video Redirection 起動可確認済(MMB Web-UI への http 接続・https 接続含む)

-:Video Redirection 起動未確認

(SA17121/SB17121 版より以前の本体ファームウェア版数をご利用時、上記以外の組み合わせの OS/ブ ラウザ/Java で Video Redirection が問題無く動作していたが、SA17121/SB17121 版を適用すると、そ れまで使用出来ていた Video Redirection が起動出来ない事例がありました。そのため、本体ファームウ ェア版数を更新するさいは、Video Redirection 起動確認済である上記の OS/ブラウザ/Java の組み合わ せを参照し、使用してください。)

■PRIMEQUEST 2000 シリーズ

(以下の組み合わせで動作検証済)

	Windows 10	Windows 10
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)
	+	+
	Internet	Internet
Java 版数	Explorer11	Explorer11
	(32bit)	(32bit)
Java8(32bit) update121	0	0
2017年1月17日リリース		
Java8(32bit) update131	〇(注1)	〇(注1)
2017 年 4 月 18 日リリース		
Java8(32bit) update144	〇(注1)	〇(注1)
2017 年 7 月 26 日リリース		
Java8(32bit) update151	〇(注1)	〇(注1)

2017年10月17日リリース		
Java8(32bit) update161	〇(注1)	〇(注1)
2018年1月16日リリース		
Java8(32bit) update171	〇(注1)	〇(注1)
2018年4月17日リリース		
Java8(32bit) update181	〇(注1)	〇(注1)
2018年7月17日リリース		
Java8(32bit) update191	〇(注1)	〇(注1)
2018 年 10 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update201	〇(注1)	〇(注1)
2019年1月15日リリース(最終版)		

○:Video Redirection 起動可確認済(MMB Web-UI への http 接続・https 接続含む)

-:Video Redirection 起動未確認

■PRIMEQUEST 3000 シリーズ

(以下の組み合わせで動作検証済)

	Windows 10	Windows 10
OS とブラウザ版数	(32bit)	(64bit)
	+	+
	Internet	Internet
Java 版数	Explorer11	Explorer11
	(32bit)	(32bit)
Java8(32bit) update151	\bigcirc	0
2017 年 10 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update161	\bigcirc	0
2018年1月16日リリース		
Java8(32bit) update171	0	0
2018年4月17日リリース		
Java8(32bit) update181	\bigcirc	0
2018年7月17日リリース		
Java8(32bit) update191	0	0
2018 年 10 月 17 日リリース		
Java8(32bit) update201	0	0
2019年1月15日リリース(最終版)		

○:Video Redirection 起動可確認済(MMB Web‐UI への http 接続・https 接続含む)

-:Video Redirection 起動未確認

(注1)

Java 8 update131 以降を適用したクライアント端末で Video Redirection が起動できない場合がありま す。その場合は<u>【付録 5</u>]で記載しております回避策を実施してください。Video Redirection が起動で きるようになることを確認しています。
5. Video Redirection の注意事項

- MMB 接続用 PC の OS が Windows Vista 以降および Windows Server 2008 以降の場合、UAC(User Account Control)または UAP(User Account Protection)を"Disable"に設定します。または Web ブラ ウザを「管理者として実行」から起動します。
- Video Redirection および Virtual Media は、接続先のネットワークが Proxy 経由の場合、接続できな い場合があります。その場合は、Web ブラウザの設定で Proxy 経由にしない設定にします。
- ・Virtual Media は同一ユーザ端末から複数パーティションに対して利用できません。
- ・Virtual Media は管理者権限でブラウザを実行した状態で使用してください。
- ・PRIMEQUEST3000 シリーズ Business Model にて Management LAN Port を Shared 設定にしてい る場合は、転送速度が 1000Mbps から 100Mbps に低下するため、ファイル転送に時間を要します。

Video Redirection を使用するためには、Web ブラウザで MMB Web-UI に接続する必要があります。 MMB Web-UI に接続するにあたり、以下の資料を参考に Web ブラウザの版数および設定を確認して ください。

・PRIMEQUEST 1000 シリーズ留意事項

http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/1000/catalog/manual/s upport/index.html

「運用管理ツール」のセクションにある「PRIMEQUEST シリーズ 各コンソール機能の Web ブラウ ザ動作確認情報」

・PRIMEQUEST 2000 シリーズ留意事項

http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/catalog/manual/s upport/index.html

「運用管理ツール」のセクションにある「PRIMEQUEST シリーズ 各コンソール機能の Web ブラウ ザ動作確認情報」

・PRIMEQUEST 3000 シリーズ留意事項

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/

「運用管理ツール」のセクションにある「PRIMEQUEST シリーズ 各コンソール機能の Web ブラウザ 動作確認情報」

設定項目	確認・設定	Wind	ows
		10	11
ユーザーアカウント制御	[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[ユーザーア	0	0
無効設定	カウント]→[ユーザーアカウント制御設定の変更]→[ユーザ		
	ーアカウント制御の設定]		

以下に示す設定項目を確認し、必要に応じて MMB 接続用 PC に設定します。

	 ※ PC の設定によっては、[ユーザーアカウント]ではなく、 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定]または[ユーザ ーアカウントとファミリーセーフティ]と表示されている場合があります。 		
	 ・「通知しない」に設定 (設定変更後、要再起動) 		
DNS サーバのアドレス	Windows 10/Windows 11	0	\bigcirc
設定	[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→		
	[ネットワークと共有センター]→[アダプター設定の変更]→		
	[イーサネット]→[プロパティ]ボタン→[TCP/IPv4]→[プロパ		
	ティ]ボタン		
	・DNS サーバへのアクセスが不可の場合は、DNS サーバへ		
	のアドレスを設定しない		

○:確認·設定対象項目

6. トラブルシューティング

Video Redirection に関するトラブルの事例と対処を記載します。

(Java は Oracle Java7/Java8、ブラウザは Internet Explorer 11、OS は Windows10 での例を記載します)

項		トラブルの事例と対処
1	事	Video Redirection に接続できない。※Web ブラウザの設定
	例	
	対	Web ブラウザにおいて信頼済みサイトへの登録、またはキャッシュのクリアを実施する
	処	ことで接続できる場合があります。
		・信頼済みサイトへの登録
		1. インターネットオプションの「セキュリティ」 タブから信頼済みサイトのサイトボタン
		ボタンをクリック。
		2. 信頼済みサイトダイアログで、追加ボタンをクリック。
		インターネットオブション ? ×
		全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
		セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。
		信頼済みサイト このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えない と信頼している Web サイトが会まれています
		このゾーンのセキュリティのレベル(L)
		女主でない可能性のあるコプテンジをダリンロードラン朝に書きします。 - 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。
		 □ 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P) レベルのカスタマイズ(C) 既定のレベル(D)
		すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(<u>R</u>)
		OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
		・キャッシュのクリア
		1. インターネットオプションの「全般」タブから削除ボタンをクリック。
		2. インターネット一時ファイルにチェクを入れて、削除ボタンをクリック。

		インターネット オブション ? × 全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 ホームページ アームページ
		 ○ 終了時に開覧の履歴を削除する(W) 剤除(D)< 設定(S) デザイン 色(Q) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E) OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
2	事	Video Redirection に接続できない。※Web ブラウザの設定
	例	Web ブラウザに https 控結な実施して Video Dedingetion に位結子工程会 W-L ブラウザ
	処	web フラフット https 接続を実施して video Redirection に接続9 る場合、Web フラワサ の TLS1.0/TLS1.1/TLS1.2 設定が有効になっていないために Video Redirection に接続で
		きない場合があります。
		C20X-524基項で含ません・Internet basister COページは表示できません 「評価報点」で TLS 1.0、TLS 1.1、TLS 1.2 を有効にして、もう一度 Lを指してみてください。引き続きエラーが発生する場合は、リボートされていないプロトコ L、または受全と見なされない RC4 などの時号スイート ((評価価格のリンク)) がサイトで使われ ている可能性があります。サイトの管理者に問い合わせてください。 Example Examp
		確認方法は以下。 1.Web ブラウザの「ツール」・「インターネット オプション」・「詳細設定」タブを開く。 2.セキュリティの「TLS 1.0 を使用する」/「TLS 1.1 の使用」/「TLS 1.2 の使用」のチェ ックボックスを確認する。

		インターネット オブション (*) 金岐 セキュリティ (*) エンコードざれたアドレスを常に表示する (*) ビキュリティ (*) レージを有効にする (*) レージを有効にする (*) DOM ストレージを有効にする (*) SL 0.0 使用する (*) TLS 1.1 の使用 (*) TLS 1.2 の使用
		ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。
		3.チェックが入っていない場合はチェックを入れ、「適用」、「OK」の順にクリック。
3	事	Video Redirection に接続できない。※Oracle Java の設定
	1列 分	Java のキャッシュをクリアオストレで控結でキス坦合がなります
	勿	$vava v \to v \to v \to v \to v \to v \to v$ のここ い女心 くさる物日 $u^{*} a v = v$
		 1.Java コントロール・パネルの「一般」タブで、「インターネットー時ファイル」セクションにある「設定」をクリック。 「一時ファイルの設定」ダイアログ・ボックスが表示される。 2.「一時ファイルの設定」ダイアログで「ファイルの削除」をクリック。 「一時ファイルの設定」ダイアログで「ファイルの削除」をクリック。 「一時ファイルの設定」ダイアログで「ファイルの削除」をクリック。 「「一時ファイルの設定」「クリージョンの削除」「ダイアログ・ボックスが表示される。 3.「ファイルおよびアプリケーションの削除」ダイアログで全ての項目のチェックボックスにチェックを入れて「OK」をクリック。

		ファイルおよびアプリケーションの削除 × ・ ・ ・
4	事	Video Redirection に接続できない。※Oracle Java の設定
	対	Java が有効にたっていたいためにアプレットが実行されたい場合があります。
	処	確認方法は以下。
		1.Java コントロール・パネルで、「セキュリティ」タブをクリック。
		2.「ブラウザで Java コンテンツを有効にする」のチェックボックスを確認する。
		3.チェックが入っていない場合はチェックを入れ、「適用」、「OK」の順にクリック。
		4.ブラウザを再起動すると、変更が有効になります。
		▲ Javaコントロール・パネル ー ○ × →絵 面新 Java セキョリティ 詳細
		ー 素 更新 dava Ch 100 m mmm □ びうつザで Javaコンテンツを有効にする(E)
		 例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル 非常に高(少) 証明書が失効していないことを確認できる場合にかざり、信頼できる認証局の証明書により識別 されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。 高(出) 証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書により識別され るJavaアプリケーションは実行を許可されます。
		例外サイト・リスト 次に示すサイトがら起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの含に実行を許可されます。 サイト・リストの編集(S)_ サイト・リストの編集(S)_ セキュリティ・プロンプトの復元(B) 証明書の管理(M)_
		OK 取消 適用(A)
5	事	Video Redirection に接続できない。※Oracle Java の設定
	例	
	対	Java の例外サイトに登録することで接続できる場合があります。
	処	28年七年1月11下
		豆球刀伝はめ下。 1 Java コントロール・パネルで「ヤキュリティ」タブをクリック
		2.「サイト・リストの編集」をクリック。

		>欠に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。
		「追加」をクリックすると、アイテムがこのリストに追加されます。
		道加(A) 前際(E) 「ELEプロトコルねよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。 可能かせ各つけれてTPSサイルを使用することをお声がします。
		3 例外サイト・リストダイアログで「追加」をクリック
		MMB Web-III に http 接続している場合:「http:// <console ip="" redirection="">」</console>
		MMB Web-III に https 接続している場合: [https:// <console ip="" redirection="">]</console>
		kin l OK を力し v 力
		2 迫加し、 [OK] 2 /) /) 。
6	争	Video Redirection に接続でさない。※セキュリティソフト、ファイアワオールの影響
	例	
	対	セキュリティソフトやファイアウォールを一時無効にしてください。
	処	なお、セキュリティソフトが原因の場合は、該当ソフトでの例外設定により接続できる可
		能性があります。
7	事	Java 証明書のエラーが発生して Video Redirection が起動できない。※Oracle Java の設
	例	定
	対	以下の 1)または 2)を実施することで起動できる場合があります。
	処	1)Java コントロール・パネルで「署名付きコード証明書失効チェックを実行」を"チェッ
		クしない"に変更する。
		一般 更新 Java セキュリティ 詳細
		実行環境セキュリティ設定 2 ユーザーが署名済コンテンツにアクセス権を与えることを許可する
		ービ サンドホックス警告/ナーを表示する ーグ ユーザーがJNLPセキュリティリクエスドを受け入れることを許可する ーグ IIII日東が広ちしたいかいつのふたたする場合にカライアントIII日東の資源を尋ねない
		□ 副の音楽が存在していたりしかい存在してあった。「「「「「「「「「」」」」」」 「」」「」「「」「「「「「」」」」」、「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「
		混合コード(サンドボックス内実行vs 信頼為)セキュリティ検証 ├・③ 有効 - 必要であれば警告を表示する - ○ + 物サ + ジェーサオマ・ローオマ
		 ○ 有効 - 警告な表示とりに、1+歳を加りし美にする ○ 有効 - 警告は表示しないが、信頼できないコードは実行しない ○ 検討を無効にする(3)指揮型)
		署名付きコード証明書失効チェックを実行 〇 発行者の証明書のみ
		// @ 10/2 書名[17:3 - 17:5] - ○ 証明書失効リスK(ORL) ○ オンライ/ 証明書 ステータス・プロトリル(OCSP)
		● CRLとOCSPの両方 TLS証明書失効チェックを実行
		 ○ サーバー言いけ書のみ ○ 信頼チェーンのすべての証明書 ○ 「信頼チェーンのすべての証明書
		○ () () () () () () () () () () () () ()
		○オンライン証明書ステータス・プロトコル(OCSP) ◎ CRL20CSPの両方 文章広トレーロージロー
		OK 取消 造用(A)
		 2)Java コントロール・パネルで「セキュリティ」タブの例外リスト・サイトの設定に登録
		する(Console Redirection の IP を登録する)。
8	事	Internet Explorer で Video Redirection を起動する際、Internet Explorer のステータス

	例	バーに以下のメッセージが出力される。
		「このページのポップアップがブロックされました。ポップアップの表示を許可するに
		は、Ctrl キーを押しながらクリックします。」
	対	MMB 接続用 PC で[Ctrl]キーを押しながらマウスをクリックします。
	処	
9	事	Internet Explorer で Video Redirection を起動する際、Internet Explorer のステータス
	例	バーに以下のメッセージが出力される。
		「xxx.xxx.xxx からのポップアップがブロックされました。」
	対	Internet Explorer でビデオリダイレクション (Java または HTML5) を起動する場合は、
	処	Apply ボタンをクリック後に、確認のダイアログボックス(Are you sure?)がポップアッ
		プされますので、Ctrl キーと Alt キーを押しながら、ダイアログボックスの[OK]ボタンを
		クリックします。
10	事	DVD ドライブの媒体を Virtual Media に接続したが OS からマウントできない。
	例	
	対	管理者権限で OS にログインしてください。
	処	
11	事	Video Redirection に接続する際、「java.net.SocketException:Malformed reply from
	例	SOCKS server」が発生する。
	対	<u>【付録 1】</u> を参照してください。
	処	
12	事	PQ2000シリーズのIOファームアップ作業等でMMB接続用PCに内蔵・外付けCD/DVD
	例	ドライブを接続し、Virtual Media (Remote Storage)機能の CD/DVD ブートを利用した
		作業を行う際に、
		[[] Reboot and Select proper Boot device
		or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key
		と Video Redirection 画面に表示されてブートできない。
	対	<u>【付録 2】</u> を参照してください。
	処	
13	事	Video Redirection の起動が遅い(15 分以上)。
	例	
	対	MMB に設定している DNS サーバと接続できない等の問題で通信に時間を要している可
	処	能性があります。
		DNS サーバを disable にして改善されるか確認してください。
14	事	Video Redirection を起動すると、アプリケーション・エラーのダイアログボックスが表
	例	示され、「このアプリケーションを起動できません」となる。※Oracle Java の設定

		[詳細]ボタンをクリックすると、詳細情報ダイアログの[例外]タブに
		#### Java Web Start Error:
		##### イヤッシュは、nativenb または instaner desc リホートに対して有効である必要が あります
		と表示される。
	対	Java の[一般]タブより[インターネットー時ファイル]の設定ボタンをクリック
	処	し、[コンピュータに一時ファイルを保持する]のチェックを入れてください。
		 ー時ファイルの設定 ×
		□ ロンピュータに一時ファイルを保持する(K)
		場所 一時ファイルを保持する場所を選択してください:
		ers¥===¥AppData¥LocalLow¥Sun¥Java¥Deployment¥cache 変更(円)
		JARファイルの圧縮レベルを選択してください。 ・ 時ファイルを格納するため、ディスク領域を設定します。
		32768 € MB
		ファイルの削除(<u>D</u>) デフォルトに戻す(<u>B</u>)
		ОК 取消
15	事	Video Redirection に接続できない。 ※MMB 設定
	例	
	対	1. MMB Virtual IP Address と Maintenance IP Address が同一ネットワークに設定さ
	処	れていないかご確認ください。同一ネットワークが確認できた場合は、異なるネット
		リークとなるよう MMB の不ツトワーク設定を見直してくたさい。 2 MMB Virtual IP Address と Console Redirection IP Address が同一ネットワークに
		2. Interpotential if Address c Console field feetile if Address λ (μ) (λ)
		Redirection IP Address を MMB Virtual IP Address と同一ネットワークに設定して
		ください。
16	事	Video Redirection に接続できない。 ※ネットワーク設定
	例	
	対	Video Redirection は Console Redirection IP 及び Port 80(http)、Port443(https)を使用
	処	します。スイッチングハブやルータ、ファイアウォール機器で当該パケットをフィルタし
		ていないかご確認ください。
17	事	USB ドライブの媒体を Virtual Media で接続したいが、USB ドライブが表示されないの
	例	で接続できない。

		Virtual Media
		CD/DVD Media : II
		Hard disk/USB Key Media : I
		HD/USB Image Browse Connect Haird disklosb Key
		Hard disk/USB Key Media : II
		HD/USB Image Browse Connect Hard disk/USB Key
		Status
		Target Drive Connected To Read Bytes Virtual Floppy Not Connected n/a
		Mitbal Floppy Nct Senacted n/a Virtual CD/DVD Not Connected n/a Virtual CD/DVD Not Connected n/a
		Device redirection not possible due to insufficient permission. Launch Application as Administrator
	対	管理者権限でブラウザを起動して Video Redirection に接続してください。
	友几	Virtual Madia を表示すると IISB ドライブが表示されるようにかります
	~	
		U mage U mage
		○ E
		CD/DVD Media : II
		CD Image Browse Connect CD/DVD
		○ E
		Hard disk/IISP Kov Media - T
		HD/USB Image Browse Connect Hard disk/USB Key
		PhysicalDrive1-[F] - USB
		Hard disk/USB Key Media : II HD/USB Image Browse Connect Hard disk/USB Key
		PhysicalDrive1.FI - USB
		Status Target Drive Connected To Read Bytes
		Virtual Floppy Not Connected n/a
18	事	PQ3000 用 Video Redirection ツール(PQ3000VR_19021.jar)を使用して Video
	例	Redirection を起動している際、バーチャルメディアの切り替え時、CD/DVD Media I マ
		ウント状能で CD/DVD Media Ⅱマウント時に For input string の警告がでてマウント
		$\pi + \lambda = \pi + \lambda$

	対	一度 Video Redirection 両面を閉じ、3.3.1 章を参照し、Video Redirection を再起動させ
	処	てからバーチャルメディアをマウントしてください。
		このとき、バーチャルメディアのマウント完了までに2分程度要する場合があります。
19	事	PQ2000 用 Video Redirection ツール (PQ2000VR_19021.jar)、PQ3000 用 Video
	例	Redirection ツール(PQ3000VR_19021.jar)を使用して Video Redirection を起動したと
		き、画面が黒いまま表示されない。
	対	一度 Video Redirection 画面を閉じてください。
	処	AdoptOpenJDK を使用している場合の例:
		"C:¥Program Files¥AdoptOpenJDK¥jdk-8.0.212.04-hotspot¥bin¥java.exe"
		Zulu を使用している場合の例:
		"C:¥Program Files¥Zulu¥zulu-8¥bin¥java.exe"
		上記 java.exe を石クリックし、「ブロバティ」をクリックしてください。
		互換性ダブの設定→管理者としてこのブログブムを実行するにチェックを入れ、 <u>3.2.1 章</u> (アアス・アログブログブムを実行するにチェックを入れ、 <u>3.2.1 章</u>)
		(PRIMEQUEST2000 の場合)または <u>3.3.1 章</u> (PRIMEQUEST3000 の場合) を参照し、
		Video Redirection を冉起動させてください。

		🛓 java.exeのプロパティ ×
		全般 互換性 デジタル署名 セキュリティ 詳細
		全般 上映性 アシタル著名 でキュリティ ま このプログラムがこのバージョンの Windows で正しく動作しない場合は、互換 性のトラブルシューティング ツールを実行してください。 互換性の設定を手動で選択する方法 互換モード 互換モード 互換モード 互換モードでこのプログラムを実行する: Windows 8 シ 設定 トラー モードを制限する 8 ビット (256) カラー ら40 × 480 の解像度で実行する ティング
		□ 高 DPI 設定では画面のスケーリングを無効にする □ 管理者としてこのプログラムを実行する □ このプログラムで OneDrive ファイルを操作できるようにする
		● すべてのユーザーの設定を変更
20	事	PRIMEQUEST 1000 シリーズの MMB WebUI の Partition >Partition#X >Console
	例	Redirection で、Text Console Redirection にチェックを入れ、「Apply」をクリックした
		場合、以下の画面が現れ、Text Console Redirection の起動に失敗する。
		Error Fatal: Initialization Error: Could not initialize applet. For more information click "more information button". Show Details Purge Java Console OK
	対	<u>【付録 5】</u> を参照し、Java の設定を変更してください。
	処	Video Redirection 用の記載ですが、同じ設定を実施してください。

【付録1】

Video Redirection に接続する際、「java.net.SocketException:Malformed reply from SOCKS server」 が発生する場合は、Web ブラウザを以下のように設定します。

-Internet Explorer および Microsoft Edge の場合:

(1)[コントロールパネル]-[インターネットオプション]-[接続のタブ]-[LAN の設定]-[プロキシサ ーバ]-[詳細設定]をクリックする。

(2)[すべてのプロトコルに同じプロキシサーバを使用する]のチェックボックスをオフにする。 (3)Socks のフィールドを空にする。

【付録 2】

PQ2000 シリーズの IO ファームアップ作業等で PC に内蔵・外付け CD/DVD ドライブを接続し、 Virtual Media (Remote Storage)機能の CD/DVD ブートを利用した作業を行う際に、

Reboot and Select proper Boot device

or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key J

と Video Redirection 画面に表示されてブートできない場合があります。



対処として、以下の設定を確認してください。

1) [Windows]キー+[R]キーを押下し、「ファイル名を指定して実行」画面を表示させて 【gpedit.msc】 と入力し、 [OK] ボタンをクリックする。



2)「ローカルグループポリシーエディター」画面で「コンピューターの構成」⇒「管理用テンプレート」 ⇒「システム」⇒「リムーバブル記憶域へのアクセス」を展開する。

C-fix fix-7 # (1- 37 dia-		
77-FM3 \$400 \$500 Au700	CONSIGNATION OF	
++)800 + 10 0 T		
	■ 5.0% MRIARTELINGURGATE r. ガート	#2: 2005 (1) 2005 2) 4000 2) 4000000 9745 97-123 2) 2000000 9747 497-123 2) 200402 970-7488 2) 200402 970-7488 2) 200402 970-75 2) 200402 970-75 2) 200402 970-75 2) 20047 2) 20047 2

3)「CD および DVD:書き込みアクセスの拒否」設定の「状態」列を確認する。
 「状態」列が「未構成」であった場合 → 設定変更不要。以上で確認作業は終了である。
 「状態」列が 下図のように「有効」であった場合 → 手順 4) 項へ進む。

(L/F) (6/5(A) #5	100 AUT00			
> 🔛 Windows 🗷	・ リムーバブム記憶成へのアクセン			
1 32NO- 1 5274	CD および DVD: 書き込みアクセス の新西	設定 (1) 第三の二月三日 こまでの時間(月)	10	10XC
 Kerbe Windo R 	<u>ポリシー設定の構成</u>	 CD および DVD: 実行アクセス権の拒否 CD および DVD: 実行アクセス権の拒否 CD および DVD: 読み取りアクセス権の拒否 	米绸纹 米绸纹	51612 11632
> 🧱 Windo 1 Windo > 1 インタ	必要条件: Windows Vista 以降	(1) たんびかれ、またシンパクシスのある (1) カスタム クラス: 読み取りアクセス様の明白 (2) カスタム クラス: 読み取りアクセス様の明白 (2) カスタム クラス: 読み取りアクセス様の明白	利用 お構成 を通え	6.6.08 6363 2 6363 2
ガルー コント システ	説明: このポリシー設定を行うと、CD およ び DVD によるリムー/(プル記憶城ク	20 フロッピードライブ: 果行アクセス権の拒否 30 フロッピードライブ: 果行アクセス権の拒否 30 フロッピードライブ: 読み取りアクセス権の拒否	*#4 *#4	51002. 51002
二 シヤッ 二 スクリ	ラスへの書き込みアクセス権が拒否 されます。	③ フロッヒートウイン: 御き込みアクセスの把当 ④ リムーパブルディスク: 実行アクセス権の拒否 ④ リムーパブル ディスク: 実行アクセス権の拒否	米陽度 米陽度 - 米陽度	616102. 616102.
100 デイス 100 デイス 2010 デバイ	このポリシー設定を有効にした場合、このリムーパブル記憶域クラス への書き込みアクセス権が長添され	当 リムーバブル ディスク:書き込みアクセスの用品 当 すべてのリムーバブル記律域クラス:すべてのアクセスを…	呆儀成 呆儀成	616.08 616.08
* = デパイ ドライ ドライ	ます。 このポリシー設定を開始にした場	② すべてのリムーパブル記録域:リモート セッションでの道二 ③ テープ ドライブ:実行アクセス種の紙器 ※ テープ ドライブ:実行アクセス種の紙器	米県式 米県式 東県式	61612 61612
> 00 トラブ > 00 ネット	合、または構成しなかった場合は、 このリムーバブル記憶域クラスへの、 書き込みアクセス増は許可されま	(1) アーブドライブ:着き込みアクセスの相互 (2) WPD デバイス:読み取りアクセス度の低否	未構成 未構成	61612 61612
○ コンテイ ○ フォル ()	7.	近 WPD デバイス: 書き込みアクセスの拒否	米编成	61618

4) 「CD および DVD:書き込みアクセスの拒否」の行を右クリック ⇒ 「編集(E)」をクリックする。

5)「CD および DVD:書き込みアクセスの拒否」画面で[未構成]ラジオボタンを選択し、[適用(A)]ボタンをクリックする。

CUELO DAD BELATOELCES	
GO および DVD: 著き込みアクセスの発音 CO および DVD: 著き込みアクセスの発音 CO および DVD: 著き込みアクセスの発音 CO および DVD: 第き込みアクセスの発音 CO および DVD: 第 CO お	BUCBUE(E) ACORT(P)
* ###(C)	
D REAL	
w i <ec-h8ns i-hm<="" td=""><td>ndows Vista DIS</td></ec-h8ns>	ndows Vista DIS
「シー木楠成にナエック	~~~
	このポリシー設定を行うと、CD および DVD によるリムーパ ル記憶域クラスへの豊き込みアクセス電が振荡されます。
	このポリシー設定を有効にした場合、このリムーバブル記憶の
	SAAGHELA/SCARTEGERET.
	このホリシー展支を用めたした相当、または構成しなかった。 会は、このリムーパブル記憶域クラスへの書き込みアクセス にたまった。
	and Crist.
	適用ボタン押下
	CK #V>ttl IIR(A)

6)「スタートメニュー」⇒「コンピューター」を右クリック ⇒「管理」をクリックする。



7)「デバイスマネージャー」⇒「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」⇒「書き込みアクセスの 拒否が有効になっているドライブ(本手順では、例として外付け CD/DVD ドライブ用のドライバを選 択)」を右クリック ⇒ 「削除」をクリックする。



8)「書き込みアクセスの拒否が有効になっているドライブ(本手順では、例として外付け CD/DVD ド ライブ)」を USB から物理的に切り離し、10 秒程度経過したら再度、物理的に接続する。

備考) 該当ドライブが内蔵ドライブの場合、PCの再起動を実施すること。(再起動後にドライバが 自動インストールされる)

9)「スタートメニュー」⇒「コンピューター」をクリックし、 コンピューター画面で CD/DVD ドライ ブが見えている事を確認する。

備考) CD/DVD ドライブが見えない場合は、PC を再起動した後、再度、確認すること



- 注) ブートできないメッセージが出力されてしまった場合は、手順 1) 項から設定内容の確認、再 設定をやりなおすこと。
- 備考) 作業終了後は必要に応じて、元の設定に戻すこと

【付録 3】

Video Redirection の接続確認に使用した際の Java の設定について。※Oracle Java の設定

設定項目	Java8 update 161(32bit)の例
「一般」タブ ネットワーク設定	ネットワーク設定 × デフォルト・ブラウザのプロキジ設定を使用してインターネットに接続します。 (ジラウザの設定を使用してインターネットに接続します。) (ジロキシ・サーバーを使用(P) アドレス: ポート 加・カル・アドレスに対してプロキシ・サーバーを過ぎない(Y) 自動プロキジ構成スクリプトを使用(D) スクリプトの場所: ○ 直接接続(D) ○ K 取消 (デフオルトト設定から変更なし)
	(使用するブラウザの設定で、プロキシサーバを経由する設定がされてい る場合は、直接接続を指定すること)
「一般」タブ インターネットー時フ ァイル	-時ファイルの設定 -時ファイルを保持する場所を選択して伏さい: -時ファイルを保持する場所を選択して伏さい: -時ファイルを指示するため、ディンジ璃域を設定します: -時ファイルを指示するため、ディンジ璃域を設定します: アナイルの崩倒(D): アナフォルト: アナフォルト: こでフォルレト: たこの: (デフォルレト: この: アナン: (デフォルレト: この: アナン: (デフォルレト: アナン: -
「セキュリティ」タブ	Javaコントロール・パネル - マ A S Javaコントロール・パネル - マ S S Javaコントロール・パネル - マ S S S Javaコントロール・パネル - マ S S S Javaコントロール・パネル - マ S

Video Redirection の接続確認に使用した際の Java コントロール・パネルの設定





【付録4】

Video Redirection の接続確認に使用した際のインターネットオプションの設定







セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン	×	
設定		
また また また それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それではなる それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それでは、 それては、 それでは、 それては、 それては、 それては、 それては、 それては、 それては、 それては、 それては、		
カスタム設定のリセット リセット先(E): 中低(既定) ~ リセット(E)		
OK キャンセル		
セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン	×	
設定		
 		
リスクム設定のリセット リセット先(R): 由任(時定) / リセット(F)		
- TIS (MAC) VE /TLS/···		
OK キャンセル		



設定	
② スクリプトによる貼り付け処理の許可 ○ ダイアログを表示する ○ 無効にする ○ たいにする	
 ● 有効にする ■ スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイト(: ○ 無効にする ● 有効にする ● 存効にする ● ダイアログを表示する ○ 無効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ● がにする ○ 有効にする ● 新いまする ○ 無効にする ● 前がにする ● 有効にする ● 前がにする ● 有効にする ● 前がにする ● 前がにする ● 有効にする 	
■ WINNEX= 77477 2014 2014 2014	
*コンピューターの再起動後に有効になります	
カフタル設定の目セット	
リセット先(<u>R</u>): 中低(既定) / リセット(<u>E</u>)	
OK キャンセル	
セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン × 設定	
MIME スニッフィングを有効にする ヘ	
● 有効にする TDC コントロールを許可する	
● 有効にする UserDataの常設	
● 有効にする Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウインドウを問くのを許可す	
● 有効にする Web ページが、制限されたプロトコルをアクティブ コンテンツ/に使用することを!	
● ダイアログを表示する	
〇 無効にする	
○ 有効に9 ♀	
*コンピューターの再起動後に有効になります	
< > *コンピューターの再起動後に有効になります	
> *コンピューターの再起動後に有効になります カスタム設定のリセット リセット先(B): 中低(既定) ✓ リセット(E)	
> *コンピューターの再起動後に有効になります カスタム設定のリセット リセット先(B): 中低(既定) OK キャンセル	

t	ュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン	×
	設定	
	● Windows Defender SmartScreen を使用する ● ● 無効にする ● ● ブリケーションと安全でないファイルの起動 ● ● ダイアログを表示する ● ● 有効にする ● ● 方小にマンイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める ● ● 有効にする ● ● す効にする ● ● 有効にする ● ● イアログを表示する ● ● 無効にする ●	
	*コンビューターの再起動後に有効になります	
	カスタム設定のリセット リセット先(<u>B</u>): 中低(既定) ~ リセット(<u>E</u>)	
	OK キャンセル	
セ	ュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン	×
	設定	
	 ドメイン間でのデータ ソースのアクセス ダイアログを表示する 無効にする 有効にする ドメイン間での個別のウィンドウへのコンテンツのドラッグを許可する ● 無効にする 方がにする 方がにする 方がにする ク有効にする 第約にする アイルのドラッグパロップ、またはコピー/貼り付け ダイアログを表示する 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする 第効にする マンジューターの再起動後に有効になります カスタム設定のリセット リセット先(B): 中低(既定) リセット(E) 	
	OK キャンセル	

セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン	×
設定	
ページの自動読み込み	
 ・	
□ ポップアップ ブロックの使用	
 ・ 一 ・ ● 無効にする 	
 有効にする 	
」 より権限の少ない Web コンテンツ ゾーンの Web サイトがこのゾーンに移動で	
○ ダイアログを表示する	
○ 無効にする	
 有効にする 	
レガシ フィルターをレンダリングする	
() 無効にする	
● 有効にする	
□ 増考化されていないフォーム テーダの送信	
○ ½1 //U/2を表示する	
コノビューゲーの円起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット	
リセット先(E): 中低(既定) ~ リセット(E)	
OK キャンセル	
セキュリティ設定 - 制限付きゾーン >	<
設定	
○無効にする	
○ 有効にする	
🛃 ファイルのダウンロード	
 ● 無効にする(推奨) 	
○ 有効にする(セキュリティで保護されていない)	
🛃 フォントのダウンロード	
○ ダイアログを表示する	
 (● 無効にする) 	
○ 有効にする	
& ユーザー認証	
88 ログオン	
○ イントラネット ゾーンでのみ自動的にログオンする	
④ ユーザー名とバスワードを入力してログオンする の 思たっつ、ゲークレビスログオンする	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
○ 恒治(11/1/9:2) ✓	
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
コンビューンーの分配制度に有効になりあり	
カスタム設定のリセット	
リセット先(R): 高(既定) ~ リセット(E)	
OK ±+1/1/11.	
UK 47727	
(デフォルト設定から亦再なし)	
ノ ノ オ / ビ F 収 圧 / パ り 发 実 は し /	





インターネット オプ	メリカー キャット オゴミュンソ 2 ×
ションの「接続」タブ	~ 好 オリンシン · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	インターネット接続を設定するには、 ヤットアップ(U)
	ダイマルアップと仮想フライベート ネットワークの設定
	VPN の)当加(()
	創除(图)
	プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、
	ローカル エリア ネットゾーク (LAN) の設定 LAN の設定はダイヤルアップ接続には適用されません。ダイ IAN の設定(()
	ヤルアップには上の設定を選択してください。
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
	デフォルトからローカルエリアネットワーク(LAN)の設定を更新
インターネット オプ	ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定 ×
ションの「接続」タブ	自動構成
	Bana With Sock チョンによるシンピティー Bana Bana Bana Bana Bana Bana Bana Ban
LAN の設定	✓ 設定を自動的に検出する(A) □ 自動機成スクリプトを使用する(S)
	アドレス(B):
	プロキシ サーバー
	□ LAN にプロキシ サーバーを使用する (これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接
	✓ ローカル アドレスにはブロキシ サーバーを使用しない(B)
	OK キャンセル
	プロキシサーバの設定を更新

インターネット オプ	プロキシの設定 ×
ションの「接続」タブ	サーバー
	■ 種類 使用するプロキシのアドレス ポート
詳細設定	
	Secure(<u>S</u>):
	FTP(E):
	Socks(<u>C</u>):
	✓ すべてのブロトコルに同じブロキシ サーバーを使用する(<u>U</u>)
	例外
	次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(<u>N</u>):
	セミコロン (;) を使用してエントリを分けてください。
	OK キャンセル
	プロキシサーバの設定を更新
インターネット オプ	
ションの「プログラ	全般 セキュリティ ブライパシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
ム」タブ	Internet Explorer の開き方
	常にアメットワノ州 Internet Explorer で開く
	Internet Explorer を既定のブラウザーにします。
	システムにインストールされたノラウサーのアトオンを アドオンの管理(<u>M</u>)
	HTML の編集
	Internet Explorer で HTML ファイルの編集に使うフロクラムを進んでくたさい。
	HTML エディター(<u>H</u>): ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
	電子メールなどのほかのインターネットサービスに 使うブログラムを溜んでください。 ブログラムの設定(S)
	ファイルの関連付け Internet Explorer で既定で開くファイルの種類 を選択してください。 問連付けを設定する(<u>A</u>)
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
	(デフォルト設定から変更なし)

インターネット オプ	インターネット オブション ? ×
ションの「詳細設定」	全般 セキュリティ ブライパシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
ションの「計和政定」 タブ	設定
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
	インターネット オブション ? ×
	全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 ブログラム 詳細設定 設定 図 エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する ロ エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する
	 □ エリュードマイル() ドレメを書に扱いする □ DOM ストレージを有効にする □ Internet Explorer でアクセスしたサイトにトラッキング拒否要求を送信す ○ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に等 □ SSL 3.0 を使用する □ TLS 1.1 の使用 □ TLS 1.2 の使用 □ Windows Defender SmartScreen を有効にする ○ サーバーの証明書失効を確認する ○ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ▼ メン・イ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・

インターネット オプション ? ×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
設定
☑ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ヘ
✓ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする コニウザーを閉じたとき、「Tompage Internet Files] コキルダーを欠けす?
□ フラブラーを目的にとる、Temporary internet rites) フォルターを生にす。 □ マイコンビューターでの、CD のアクティブコンテンツの実行を許可する*
□ マイ コンピューターのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する*
□ 暗号1240/2ページをリイスクに味けらない □ 拡張保護モードで 64 ビット プロセッサを有効にする*
□ 拡張保護モードを有効にする*
□ 著名が無効な場合でもソフトウェアの実行よには12ストールを計りする □ 証明書のアドレスの不一致について警告する*
□ 他の混在したコンテンツを持つセキュリティで保護されていないイメージをプ
☑ 統合 Windows 認証を使用する。 ☑ 発行元証明書の取り消しを確認する
*コンピューターの再起動後に有効になります
詳細設定を復元(<u>R</u>)
Internet Explorer の設定をリセット
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(<u>S</u>)
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
インターネット オブション ? ×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
設定
□ 保護付き/保護なしのサイト間を移動する場合に警告する □ ブラウズ
Always record developer console messages
□ Ctrl+Tab でタブを切り替えるときに、最新のページの順で切り替える ☑ FTP フォルダー ビューを有効にする (Internet Explorer 外)
 ✓ HTTP IJ- メッセージを簡易表示する
✓ Internet Explorer アドレス バーと (ファイルを開く) ダイアログでインライン ↓ Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでかい場合に通知する
 ○ Interfect Explore かんだい Web ワラフラ でない場合に通知する ○ Microsoft Edge を開くボタン ((新しいタブ) ボタンの隣)を非表示にする
✓ Web ページのボタンとコントロールで視覚スタイルを有効にする
□ アトレスハーへの「単語の人力で1フトフィット り1トには動する □ エクスプローラーのインラインオートコンプリートを使用してダイアログを実行?
*コンピューターの再起動後に有効になります
詳細設定を復元(<u>R</u>)
Internet Explorer の設定をリセット
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(<u>S</u>)…
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

インターネット オプション ? ×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
設定
□ エクスプローラーのインライン オートコンプリートを使用してダイアログを実行! ヘ
□ の999のグイトで有効にする
□ スクリプト エラーごとに通知を表示する □ スクリプト エラーごとに通知を表示する
☑ スクリプトのデバッグを使用しない (internet explorer)
□ スムーズ スクロールを使用する
✓ ダウノロートの元 」は「ご思れする ✓ パッシブ FTP (ファイアウォールおよび DSL モデム互換用)を使用する
「パフォーマンスを最適化するためにサイトとコンテンツをバックグラウンドで読
◎ ハーンナ測によるハーン ノリッノを有効にする
〇 ポイントしたときに表示する
< *コンピューターの面お時後に支持にかります
コノビューフーの(分配制)彼に有効になりあり 詳細語(完友)復元(D)
B+r/468/人にてた。プレン
Internet Explorer の設定を形定の状態にリセットします。
9 (CM (S)
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)
インターネットオブション ? ×
全般 セキュリティ フライバシー コンテンツ 接続 フロクラム 評判設定
□ リングの下線 ○ ボイントしたときに表示する
 ・ 常に表示する ・ ・ ・
○ 表示しない ✓ 自動クラッシュ回復機能を有効にする*
□ 履歴およびお気に入りの使用しないフォルダーを閉じる*
 ・個 イルナメティア ✓ HTML5 メディア要素の代替コーデックを有効にする*
✓ Web ページのアニメーションを再生する*
✓ Web ページのサウンドを再生する ダウンロードする画像のブレースホルダーを表示する
□ アンフロー ひつこ ((()) アンマン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・
✓ 自動的にイメージのサイズを変更する ✓
< <p>×コンピューターの面积動後に有効になります</p>
コノレユ ノ の(Trice marking for a
Internet Evolorer の設定を出たvib
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。
ענייין איז
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。
OK キャンセル 適用(A)


【付録 5】

Oracle Java 8 update131 以降、Zulu 8 もしくは AdoptOpenJDK 8 を適用したクライアント端末から Video Redirection が起動できない場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

クライアント端末で、以下のメッセージが表示されて、Video Redirection の ウィンドウが表示されません。

XOracle Java

<アプリケーション・エラーダイアログ画面>

このアプリケーションは起動できません

※Zulu 8 または AdoptOpenJDK 8



<同画面、詳細を押した際に表示される内容>

エラー:署名されていないアプリケーションがシステムへの無制限のアクセスを リクエストしています 次のリソースは、弱い署名アルゴリズム MD5withRSA で署名されているため、 未署名として扱われます

[環境]

次の環境の場合に発生します。

- 1) 以下の本体ファームウェアを使用している場合。
 - PRIMEQUEST 1000 シリーズ:以下の本体ファームウェア版数

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 1400S / 1400E / 1400L /	SA17041 以前(SA17041 を含む)
1800E / 1800L	
PRIMEQUEST 1400S2 Lite / 1400S2 /	SB17041 以前(SB17041 を含む)
1400E2 / 1400L2 / 1800E2 / 1800L2	

- PRIMEQUEST 2000 シリーズ:以下の本体ファームウェア版数

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 2400S Lite / 2400S /	BA16081 以前(BA16081 を含む)

2400E / 2400L / 2800E / 2800L / 2800B	
PRIMEQUEST 2400S2 Lite / 2400S2 /	BB16083 以前(BB16083 を含む)
2400E2 / 2400L2 / 2800E2 / 2800L2 /	
2800B2	
PRIMEQUEST 2400S3 Lite / 2400S3 /	BC16084 以前(BC16084 を含む)
2400E3 / 2400L3 / 2800E3 / 2800L3 /	
2800B3	

2) Oracle Java 8 update131 以降、Zulu 8 もしくは AdoptOpenJDK 8 を適用したクライアント端末 (*1)を使用している場合。

*1: Windows OS/Linux OS の端末が該当します。

[発生条件]

該当のクライアント端末で、MMB の Web-UI から Video Redirection を 実行した際に発生します。

2. 原因

Java 8 update131 から、以下の改版が行われました。

- ・MD5 で署名された JAR ファイルの検証方法に対する新たな制限が導入
- 署名付き JAR ファイルが MD5 を使用している場合、署名検証操作では その署名は無視され、JAR は署名されていないものとして扱う

MMB の Web-UI から Video Redirection を実行する際、BMC から配信される JAR ファイルは MD5withRSA で署名されています。

その為、Java 8 update131 以降、Zulu 8 もしくは AdoptOpenJDK 8 を適用した 端末で署名が無視され、実行に失敗します。

3. 発生を未然に防止する方法

<恒久対策>

PRIMEQUEST 1000 シリーズ:以下の本体ファームウェア版数を使用してください。

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 1400S / 1400E / 1400L /	SA17121 以降(SA17121 を含む)
1800E / 1800L	
PRIMEQUEST 1400S2 Lite / 1400S2 /	SB17121 以降(SB17121 を含む)
1400E2 / 1400L2 / 1800E2 / 1800L2	

PRIMEQUEST 2000 シリーズ:以下の本体ファームウェア版数を使用してください。

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 2400S Lite / 2400S /	BA16112 以降(BA16112 を含む)
2400E / 2400L / 2800E / 2800L/ 2800B	
PRIMEQUEST 2400S2 Lite / 2400S2 /	BB16101 以降(BB16101 を含む)
2400E2 / 2400L2 / 2800E2 / 2800L2 /	
2800B2	
PRIMEQUEST 2400S3 Lite / 2400S3 /	BC16112 以降(BC16112 を含む)
2400E3 / 2400L3 / 2800E3 / 2800L3/	
2800B3	

<暫定対策>

クライアント端末上での対処が必要です。 Video Redirection を使用する際は、端末の Java 設定を一時的に変更し、使用後は 元に戻してください。

以下のファイルを編集することで表示可能になります。 編集後、クライアント端末の再起動等は不要です。

Oracle Java の場合の例(*2)

C:¥Program Files¥Java¥jre1.8.0_131¥lib¥security¥java.security *2: デフォルトのパスにインストールした場合の例です。

Zulu 8 の場合の例

C:\Program Files\Zulu\zulu-8\jre\lib\security\java.security

AdoptOpenJDK 8 の場合の例

※編集実施前にバックアップファイルを作成してください。また、編集する際は java.security をデ スクトップにコピーして行い、編集後に元のフォルダに上書きコピーしてください。 上記に記載した編集対象へのファイルへのパスは実際に使用する Java により異なります。

- 編集箇所

編集前:

jdk.jar.disabledAlgorithms=MD2, MD5, RSA keySize < 1024

編集後:

jdk.jar.disabled Algorithms=MD2, RSA key
Size <1024

4. 問題発生後の復旧方法

3.発生を未然に防止する方法に記載した恒久対策の本体ファームウェア版数を使用してください。 恒久対策の本体ファームウェア版数を使用できない場合は暫定対策を実施してください。

【付録6】

AdoptOpenJDK 8 update292 以降を適用したクライアント端末から Video Redirection が起動できない 場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

クライアント端末のコマンドプロンプトから PQ2000 用 Video Redirection ツールで起動(java -jar PQ2000VR_19021.jar)し、「Remote KVM/vMedia」をクリックすると、コマンドプロンプトで、以下のメッセージが表示されて、Video Redirection のウィンドウが表示されません。

<コマンドプロンプトエラー画面>

Exception	in thread "Thread-4" java.lang.NullPointerException
at	com.ami.kvm.jviewer.videorecord.URLProcessor.writeRequestToSocket(URLProcessor.java:523)
at	com.ami.kvm.jviewer.videorecord.URLProcessor.connectToWebPort(URLProcessor.java:259)
at	com.ami.kvm.jviewer.gui.StandAloneConnectionDialog.getAllConfigs(StandAloneConnectionDialog.java:619)
at	com.ami.kvm.jviewer.gui.StandAloneConnectionDialog.access\$1700(StandAloneConnectionDialog.java:85)
at	com.ami.kvm.jviewer.gui.StandAloneConnectionDialog\$Validator.run(StandAloneConnectionDialog.java:1376)

※Thread-4:番号は実行時によって変わる場合があります。

PQ1000 シリーズの場合、ポップアップ画面が表示されます。

AVR Clie	ent X
×	javax.net.ssl.SSLHandshakeException: The server selected protocol version TLS10 is not accepted by client preferences [TLS12]
	OK

[環境]

次の環境の場合に発生します。

- 1) 以下の本体ファームウェアを使用している場合。
 - PRIMEQUEST 1000 シリーズ
 - PRIMEQUEST 2000 シリーズ:以下の本体ファームウェア版数

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 2400S Lite / 2400S /	BA18112 以前(BA18112 を含む)
2400E / 2400L / 2800E / 2800L / 2800B	
PRIMEQUEST 2400S2 Lite / 2400S2 /	BB18111 以前(BB18111 を含む)
2400E2 / 2400L2 / 2800E2 / 2800L2 /	
2800B2	
PRIMEQUEST 2400S3 Lite / 2400S3 /	BC18111 以前(BC18111 を含む)
2400E3 / 2400L3 / 2800E3 / 2800L3 /	
2800B3	

2) AdoptOpenJDK 8 update292 以降を適用したクライアント端末を使用している場合。

[発生条件]

該当のクライアント端末で、コマンドプロンプトから Video Redirection ツールで Video Redirection を実行した際に発生します。

2. 原因

AdoptOpenJDK 8 update292 から、以下の改版が行われました。

TLS 1.0 および 1.1 バージョンの無効化が行われました。
 安全と見なされなくなる TLS プロトコルの TLS プロトコルの TLS 1.0 および
 1.1 バージョンは、より安全で最新の TLS 1.2 および 1.3 バージョンに置き換えられます。

 Video Redirection ツールから Video Redirection を実行する際、TLS1.0 および 1.1 バージョン を使用しています。
 その為、AdoptOpenJDK 8 update292 以降を適用した端末で TLS が無効のため、実行に失敗

- します。
- 3.発生を未然に防止する方法

クライアント端末上での対処が必要です。

Video Redirection を使用する際は、端末の Java 設定を一時的に変更し、使用後は 元に戻してください。

以下のファイルを編集することで表示可能になります。 編集後、クライアント端末の再起動等は不要です。

AdoptOpenJDK 8 update292 の場合の例

 $C: \label{eq:c:program} Files \ensuremath{\sc k} Adopt Open JDK \ensuremath{\sc k} jdk \ensuremath{\sc s} 8.0.292.10\ensuremath{\sc h} otspot \ensuremath{\sc k} jire \ensuremath{\sc k} lib \ensuremath{\sc s} security \ensuremath{\sc s} java.security \ensuremath{$

※編集実施前にバックアップファイルを作成してください。また、編集する際は java.security をデ スクトップにコピーして行い、編集後に元のフォルダに上書きコピーしてください。 上記に記載した編集対象へのファイルへのパスは実際に使用する Java により異なります。

・ 編集箇所

編集前

jdk.tls.disabled Algorithms=SSLv3, TLSv1, TLSv1.1, RC4, DES, MD5
withRSA, ${\tt X}$

編集後

jdk.tls.disabled Algorithms=SSLv3, RC4, DES, MD5
withRSA, ${\tt \ensuremath{\mathbb X}}$

【付録 7】

Video Redirection(HTML5)にて、バーチャルメディアが接続できない場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

Video Redirection(HTML5)にて、バーチャルメディアの接続ができない場合があります。

CD Image でファイルを指定して、「Start Media」ボタンを押してしばらくすると、接続が切れて、(0 KB)「Start Media」に戻ります。

O CD Image: Browse File (0 KB) Start Media

[環境]

次の環境の場合に発生します。

1) PRIMEQUEST 2000 シリーズもしくは PRIMEQUEST 3000 シリーズ

2) Chrome および Microsoft Edge で Video Redirection(HTML5)を使用している場合。

[発生条件]

MMBの Web-UI から HTTP でアクセス後、 Video Redirection(HTML5)接続した際に発生します。 対象ブラウザ:

Chrome

Microsoft Edge

2. 発生を未然に防止する方法

MMBの Web-UI から HTTPS でアクセスしてください。

MMBのWeb-UIからHTTPでアクセスする場合、

Microsoft Edge による Internet Explorer モードで、バーチャルメディアの接続をしてください。 Chrome では Video Redirection(HTML5)接続かつバーチャルメディアは使用できません。

ブラウザ毎のバーチャルメディア接続可否は以下となります。

ブラウザ	MMB の Web-UI から	MMB の Web-UI から				
	HTTPS でアクセスする場合	HTTP でアクセスする場合				
Microsoft Edge	接続可	Internet Explorer モードのみ接続可				
Chrome	接続可	接続不可				
Firefox	接続可	接続可				

Microsoft Edge による Internet Explorer モードでのバーチャルメディア接続手順は以下となります。 (1) ①[Microsoft Edge]起動、②[・・・]、③[設定]



(2) ④[既定のブラウザー]。⑤[「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」
 にする]。⑥[再起動]をクリック。[Microsoft Edge]起動したら、⑦[追加]をクリック



※「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」が表示されない場合があります。その場合は、端末管理者へ問い合わせをお願いします。

(3)[ページの追加画面]がポップアップされます。⑧「http://xx.xx.xx/viewer.html」を入力して⑨「追加」をクリック。※ xx.xx.xx はビデオリダイレクション(※2)の IP アドレスを入力してください。 ※2 パーティションに設定した Console Redirection Setup 画面で入力した IP アドレスとなります。

詳細は、運用管理ツールリファレンス (MMB) マニュアル内の[Console Redirection Setup] 画面 を 参照ください。

ページの追加 URL を入力してください: 8	×				
http://example.com/					
(9) ^{iem}	キャンセル				

(4) Internet Explorer モードページで入力した内容が反映されていることを確認します。

Internet Explorer モードはページ追加日から 30 日間 Internet Explorer モードで開きます。30 日経 過後、再度(1)から設定をしてください。

	(2) 設定	×	+				-		×	
~	\rightarrow C	€ Edge edge:/	// settings /defaultBrowser	Q	τõ	5⁄≡	Ē			
Ē	设定		既定のブラウザー							
	Q. 設定の検索		Microsoft Edge を既定のブラウザーにする				既定に	設定する		
	圖 プロファイル ① プライバシー、村 ◇ 外観	東索、サービス	Internet Explorer の互換性							
	 [スタート]、[ホ・ (か) 共有、コピーし (か) たののにとせん 	ーム]、および [新規] タブ て貼り付け 「トのアクセス許可	Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる ③ Internet Explorer でブラウスするときに、Microsoft Edge でサイトを自動的 ます	に開くように選択でき	互換性	のないサイ	トのみ (推論	奥) >		
1	🕞 既定のブラウサ	f-								
	业 ダウンロード		Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 🕐				許	可 ~		
	巻 ファミリー セーフ	771	Microsoft Edge でブラウスするときに、互換性を確保するために Internet Explorer が必要な場合は、Internet Explorer モード で再度読み込むことを選択できます。							
	A ^t 言語 〇 プリンター ロ システム		Internet Explorer モード ページ ごれるのページは、ページ追加日から 30 日間 Internet Explorer モードで開き ージあります。	*ます. Internet Explore	r モードで自	動的に開く/	ページが 1 ベ	追加		
	じ 設定のリセット		<i>№−3</i>	追加日		有効期	月限			
	 □ XY=FJオジ2 ※ フクセンビリテ 	こその他のナハイス	B http://xx.xx.xx/viewer.html	2022/4/20	0	2022	/5/20	Ŵ		
	Microsoft Ed									
	-									

(4)ビデオリダイレクションに接続すると「Internet Explorer モード」で表示されます。Internet Explorer モードで表示されている場合は、Internet Explorer のアイコンが表示されています。

🔗 PRI	MEQU	EST 3800E	YMDE00002	6 P#1 - ブロファ	们 1 - Microso	oft Edge					-		\times
▲ セキュリティ保護なし xx.xx.xxx /viewer.html?ms=1⟨=0&sid=/1xR3K3elkSHzFpK													
Internet Explorer モードになっています。ほとんどのページは、Microsoft Edge でより適切に機能 Microsoft Edge で開く ツール バーに表示 します。							ł	洋細情報	\times				
	CD Image: Browse File (0 KB) Start Media												
Vid	leo 🕶	Mouse 🕶	Options -	Keyboard 🗸	Send Keys 🗸	Hot Keys 🔻	Video Record 🗸	Active Users 🗸	Help 🗸		A	Zoom 100	% 🖵

3. 発生を未然に防止する方法

<恒久対策>

恒久対策において、本現象の問題を検出したため、「2.発生を未然に防止する方法」

を実施してください。PRIMEQUEST 3000 シリーズ : 以下の本体ファームウェア版数を使用してくだ さい。

装置名称・型名	本体ファームウェア版数
PRIMEQUEST 3400S Lite / 3400S /	BA22101 以降(BA22101 を含む)
3400E / 3400L / 3800E / 3800L	
PRIMEQUEST 3400S2 Lite / 3400S2 /	BB22101 以降(BB22101 を含む)
3400E2 / 3400L2 / 3800E2 / 3800L2	

【付録 8】

Video Redirection(HTML5)にて、画面がゆがむ場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

Video Redirection(HTML5)にて、画面がゆがむ場合があります。



[環境]

次の環境の場合に発生します。

1) PRIMEQUEST 2000 シリーズもしくは PRIMEQUEST 3000 シリーズ

2) Chrome バージョン 100 以前または、Microsoft Edge バージョン 100 以前

[発生条件]

1) Chrome バージョン 100 以前、または、Microsoft Edge バージョン 100 以前、かつ 2)ブラウザのズーム値が 90%もしくは、67%もしくは、33%

2. 発生を未然に防止する方法

<恒久対策>

Chrome バージョン 101 以降もしくは、Microsoft Edge バージョン 101 以降を使用してください。

【付録9】

PRIMEQUEST シリーズにおいて、Video Redirection avr_iRMC_s2.jnlp がダウンロードされない場合 があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

Firefox にて、MMB Web-UI から Video Redirection の Apply を実行すると、ブラウザに「1 個の ポップアップがブロックされました」がポップアップ表示され、avr_iRMC_s2.jnlp がダウンロード されないため、Video Redirection が起動できません。



[環境]

次の環境の場合に発生します。

PRIMEQUEST1000 シリーズ、または、PRIMEQUEST 2000 シリーズ、または、 PRIMEQUEST 3000 シリーズ

[発生条件]

Firefox

- 2. 発生を未然に防止する方法
 - <恒久対策>

ポップアップ「1個のポップアップがブロックされました。」表示の「設定」を選択し、

「このサイト(xx.xx.xx)によるポップアップを許可する」を選択すると、avr_iRMC_s2.jnlp がダ ウンロードされます。※xx.xx.xx は、MMB Web-UI の IP アドレスです。

次回からポップアップ「1 個のポップアップがブロックされました。」が表示なく、avr_iRMC_s2.jnlp がダウンロードできます。

このサイト (xx.xx.xx.xx) によるポップアップを許可する(P)
ポップアップブロック設定を変更(<u>E)</u>
ポップアップをブロックするとき、このメッセージを表示しない(<u>D</u>)
'http://xx.xx.xx.xx/avr_iRMC_S2.jnlp?sid=QsbrE63eAgBS0paV'を表示

【付録 10】

PRIMEQUEST 1000 シリーズにおいて、MMB Web-UI から HTTPS アクセス後、Video Redirection が 起動できない場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

MMB Web-UI から HTTPS でアクセス後、Video Redirection を選択し、Apply をクリックにより、 avr_iRMC_S2.jnlp をダウンロード後、avr_iRMC_S2.jnlp ファイルをクリックして実行しても、 IcedTeaWeb の画面表示後、Video Redirection が起動しない。



[環境]

PRIMEQUEST 1000 シリーズ

[発生条件]

MMBの Web-UI から HTTPS でアクセス後、

クリックにより Video Redirection 接続した際に発生します。

- 2. 発生を未然に防止する方法
 - <暫定対策>

コマンドプロンプトから avr_iRMC_S2.jnlp ファイルを実行してください。

- 1) コマンドプロンプトを起動
- 2) 「cd C:¥Users¥Owner¥Downloads」を実行(※ユーザが Owner の場合)
- 3) 「avr_iRMC_S2.jnlp」を実行(※複数 avr_iRMC_S2.jnlp をダウンロードした場合、ファイル名 に(番号)が付きます)

【付録 11】

PRIMEQUEST 1000 シリーズにおいて、MMB Web-UI から HTTPS アクセス後、Video Redirection が 起動できない場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

MMB Web-UI から Video Redirection を実行すると、ブラウザに以下のメッセージが表示され avr_iRMC_S2.jnlp ファイルのダウンロードに失敗します。

安全な接続ができませんでした xx.xx.xx.xx への接続中にエラーが発生しました。Peer using unsupported version of security protocol. エラーコード: SSL_ERROR_UNSUPPORTED_VERSION

[環境]

次の環境の場合に発生します。

1) PRIMEQUEST 1000 シリーズ

[発生条件]

1) MMB Web-UI を HTTPS で接続

2. 発生を未然に防止する方法

<暫定対策>

1) ブラウザのアドレスバーに about config と入力し、Enter を押します。

("注意して進んでください!" という警告ページが表示されます。「危険性を承知の上で使用する」を クリックし、about:config ページを開いて下さい。)



- 2) 検索フィールドにて security.tls.version.min を入力して検索します。
- 3)「security.tls.version.min」の列の「値」を1と入力し、Enter を押します。

Q security.tls.version.min		□ 変更された設定のみ表示する
security.tls.version.min	1	ب

4) 再度 Video Redirection を実行しなおしてください。

【付録 12】

PRIMEQUEST 1000 シリーズにおいて、MMB Web-UI から HTTP アクセスすると、Video Redirection の Storage Devices に接続ができない場合があります。

1. 現象と発生条件

[現象]

MMB Web-UI から HTTP で Video Redirection 起動後、Remote Storage でデバイスを「Connect」 を選択すると「Discovering Storage Devices...」と表示されて、接続できません。

Storage Devices X				
	Path	Device Type		
ISO	C:\ubuntu-18.04.5-desktop-amd64	CD ISO Image		
Discovering Storage Devices				
	Add Connect	emove Re <u>f</u> resh		
	<u>U</u> K			

[環境]

次の環境の場合に発生します。 PRIMEQUEST1000 シリーズ

[発生条件]

Firefox

2. 発生を未然に防止する方法

<暫定対策>

- コマンドプロンプトから avr_iRMC_S2.jnlp ファイルを実行してください。
- 1) コマンドプロンプトを起動
- 2) 「cd C:¥Users¥Owner¥Downloads」を実行(※ユーザが Owner の場合)
- 3) 「avr_iRMC_S2.jnlp」を実行(※複数 avr_iRMC_S2.jnlp をダウンロードした場合、ファイル名 に(番号)が付きます)

【付録 13】

PRIMEQUEST 2000/3000 シリーズにおいて、Video Redirection(HTML5) を Mozilla Firefox にてご 利用された場合、一部のキー入力は、ご使用になれません。

1. 現象と発生条件

[現象]

Video Redirection(HTML5) を Mozilla Firefox にてご利用された場合、以下に示すの一部のキー入力は、 ご使用になれません。

「= (イコール)」,「- (ハイフン)」,「@ (アットマーク)」, 「`(アポストロフィー)」「* (アスタリスク)」,「: (コロン)」, 「_ (アンダーバー)」, 「^ (カレット)」,「~ (チルダ)」

[環境]

次の環境の場合に発生します。 PRIMEQUEST2000 シリーズ PRIMEQUEST3000 シリーズ

[発生条件]

Firefox

2. 発生を未然に防止する方法

<暫定対策>

Google Chrome もしくは Microsoft Edge をご使用ください。